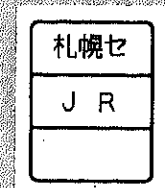
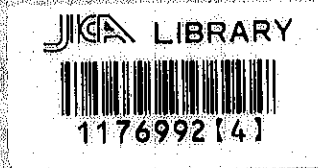


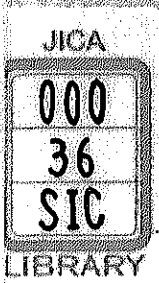
平成15年度

ジャイカ
JICA 札幌業務概要

平成16年7月



独立行政法人国際協力機構
札幌国際センター





目 次

I. センター概況	1
1. 沿革	
2. 特色	
3. 所管地域	
4. 業務内容	
5. 人員構成	
6. 施設	
II. 技術研修員受入事業	3
1. 15年度受入実績（JICA札幌所管分）	
2. 研修員全体受入実績	
3. 集団／国別（集団型）研修員受入実績	
4. 個別型研修員受入実績	
5. 集団／国別（集団型）研修コース概要	
6. 留学生セミナー	
III. 青年招へい事業	22
IV. 専門家派遣事業	24
V. 草の根技術協力事業	25
VI. 地方自治体等連携促進事業	26
VII. ボランティア事業	27
1. 青年海外協力隊	
2. シニア海外ボランティア	
3. 日系社会青年ボランティア	
4. 日系社会シニアボランティア	
VIII. 広報・開発教育支援事業	37
1. 国際協力キャンペーン	
2. 国際協力市民講座	
3. 開発教育支援	
4. 国際協力出前講座	
5. 広報一般	



1176992{4}

I. センター概況

1. 沿革

昭和38年(1963)7月、中南米等への移住者支援業務を専らとする「海外移住事業団」が外務省所管の下に設立されたことに伴い、昭和39年に同事業団の都道府県事務所の設置により「北海道事務所」として発足したのがJICA札幌の始まりです。昭和48年10月、同事業団の地方事務所の統合に伴い「北海道支部」と名称を変更しました。

その後、昭和49年8月、特殊法人国際協力事業団(JICA)設立に伴い「JICA北海道支部」となりました。

「北海道事務所」、「北海道支部」及び「JICA北海道支部」は、昭和32年12月に設立された「(財)北海道海外協会」が戦後行ってきた移住者支援業務を引き継ぎ、昭和27年から平成5年までに約4,487人の道民を中南米、とりわけブラジルへは3,228名の移住者の送り出しを行いました。

他方、平成8年(1997)4月1日、道内を基盤とする国際協力事業の高まりに合わせ、海外からの研修員の宿泊と研修施設を整備した施設を札幌市と帯広市に建設し、それぞれ「北海道国際センター(札幌)」および「北海道国際センター(帯広)」として発足しました。

平成15年10月1日、国が実施した行政改革の一環により特殊法人国際協力事業団から独立行政法人国際協力機構となり(英文略称は「JICA」を継承)、平成16年4月1日にはJICA内での組織改編により、当センターの正式名称は「独立行政法人国際協力機構札幌国際センター(略称：JICA札幌)」となりました。

2. 特色

- (1) 北海道の総人口の82%を対象としたODA事業の実施拠点
- (2) 自治体等(北海道庁、札幌市、北方圏センター)との密接な連携と協力による事業の実施と施設の運営管理
- (3) 明治2年(1869)以来の北海道の開拓・開発の歴史を活かした事業の実施

3. 所管地域

JICA札幌(10支庁；4,611千人)

「石狩(2,293千人)」、「渡島(451千人)」、「檜山(52千人)」、「後志(253千人)」、「空知(370千人)」、「留萌(63千人)」、「宗谷(76千人)」、「胆振(430千人)」、「日高(83千人)」及び「上川(540千人)」の10支庁

(参考：JICA帯広の所轄地域は「網走」、「十勝」、「釧路」及び「根室」の各支庁)

4. 業務内容

- (1) 技術研修員受入事業
 - (2) 青年招へい事業
 - (3) 専門家派遣事業
 - (4) 草の根技術協力事業 *
 - (5) 地方自治体連携事業 *
 - (6) ボランティア事業 *
 - (7) 広報（開発教育支援を含む）事業 *
- * は「国民参加型事業」

なお、以下の業務については、社団法人北方圏センター（略称NRC）に委託し、実施しています。

- 建物・施設の管理業務
- 研修員に対するブリーフィング、ジェネラルオリエンテーション、日本語講習等の研修付帯業務
- 研修員の福利厚生業務（健康管理業務を除く）
- 地域交流事業
- 一部の研修コースの研修実施業務

5. 人員構成（平成16年3月末日現在）

所長他職員12、国際協力推進員1（旭川）、協力隊進路相談カウンセラー2、嘱託医師（研修員の健康相談担当）1、国内協力員2、派遣要員5

計23名

6. 施設

- (1) 建物規模
鉄筋コンクリート5階・地下1階
敷地面積8,265㎡、建築面積2,895㎡、延床面積7,983㎡
- (2) 宿泊可能人員 100名
シングルルーム94室、ツインルーム3室
- (3) 研修施設
ブリーフィングルーム、オリエンテーションルーム、セミナールーム、
図書資料室、パソコンルーム、講師室、研修監理員室
- (4) 福利厚生施設等
エントランスホール、ラウンジ、食堂、オーディオルーム、
会議室、健康相談室、和室、広報展示コーナー

II. 技術研修員受入事業

技術研修員受入事業は、開発途上国の技術者、研究者、行政官などに、それぞれの国で必要とされている知識や技術を伝えることを目的として実施しているものです。

技術研修員受入事業は、昭和29年（1954）に開始され、最初はカンボジア等5カ国から16人を日本に受け入れました。現在は日本だけでなく国外でも研修プログラムを実施しており、これまでに約25万人が国内外の研修に参加しました。

北海道内への技術研修員受け入れは昭和52年（1977）に始まり、JICA札幌では、平成8年度の開設以降平成15年度末までに2598人の研修員を受け入れています。

日本で実施される研修には、様々な国に共通する開発課題に応じる集団研修、特定の国や地域のニーズに応じる国別研修、中南米の日系人を対象とした日系研修などがあります。

1. 15年度受入実績（JICA札幌所管分）

(1) 集団研修	16コース	受入人数	120人
(2) 国別研修（集団型）	19コース	受入人数	151人
(3) 国別研修（個別型）			37人
(4) 長期研修員			2人
(5) 日系研修員			4人
(6) 草の根技術協力（地域提案型）*			<u>12人</u>
			合計326人

* Vに記載の実績と同一（重複）

（参考）

・ JICA札幌での受入累計実績	平成8年～平成15年	2598人
（北海道支部時代の受入累計実績	昭和52年～平成7年	1187人）

・ JICA札幌での国別受入累計実績（平成8年～15年の間、上位6カ国）	
中国151人	インドネシア127人
ペルー109人	タイ102人
エジプト88人	ウズベキスタン83人

3. 集団／国別（集団型）研修員受入実績内訳

No	研修科目	定員	受入人数	氏名	国名	受入期間	受入日数	入日	関係省庁	研修機関
1	(国別研修) 南アフリカ地域開発 行政セミナー (第10回)	10	6	Mr. SMIT Francois Alwyn	南アフリカ共和国	03/5/20	41	246	国土交通省	北海道開発局
				Mr. MOTIL HABANE Rranokgosi Israel	南アフリカ共和国					
				Ms. Nontobeko TSEKI	南アフリカ共和国					
				Ms. Shirley Mabedi MOLEMA	南アフリカ共和国					
				Ms. Elizabeth Manini DUMANE	南アフリカ共和国					
				Ms. Paulinah Manku M. SETLALENTOA	南アフリカ共和国					
				Mr. ROMEO ESQUIVEL Luis Guillermo	コスタリカ					
				Mr. Said Nassir AL - SAADI	オマーン					
				Mr. PADDINGALAN Leo Lalusin	フィリピン					
				Mr. ALDAFTAR Akram Alkutabi	シリア					
Mr. SUPRADISH NA AYUDHYA Rapee	タイ									
Mr. Basulwa Henry SBEULIBA	ウガンダ									
Mr. PANDILOV Zoran Atanas	マケドニア									
Mr. MINOVSKI Rovet Nove	マケドニア									
Mr. STEVKOVSKI Dragi Pance	マケドニア									
Ms. PETROVSKA Silvana Branislav	マケドニア									
Mr. LAZAROV Tomislav Nikola	マケドニア									
Mr. GEORGIEVSKI Dimitar Nove	マケドニア									
Mr. VRAB Frantisek	スロバキア									
Mr. Teotahi Adrian TEOTAH	クック諸島									
Mr. Roland CHITAY HERNANDEZ	グアテマラ									
Mr. Jamal ENAIA	パレスチナ									
Mr. Humberto SAMANIEGO	パラグアイ									
Mr. WERASEKARA GAMAEHIGE Chula Laxantha Weerasakera	スリランカ									
Ms. Bhekiwe V. DLAMINI	スワジランド									
Mr. Hugh MAVUSO	スワジランド									
Mr. Quddus Vusika FIELEA	トンガ									
Mr. HUONG Sarin	カンボジア									
Mr. NYANGONO Edou Paulletic	カメルーン									
Ms. Mustie Gebremedhin HAGOS	エリトリア									
Ms. Andrea Nicole DAWKINS	ジャマイカ									
Mr. Sheila Loraine JONES	ジャマイカ									
Ms. Raimundo Augusto BARBOSA	モザンビーク									
Ms. Feitzarda Fabi?o Macauno DGEDGE	モザンビーク									
Ms. Nola Maria MAIKA	バブアニューギニア									
Ms. Sonia Korowi VANO	バブアニューギニア									
Ms. Juliet KASANGWA	ルワンダ									
Ms. MARIACA Heredia Maria Rosnelly	ボリビア									
Mr. DERA Karima	ブルキナファソ									
Mr. MUTSYA David Kioko	ケニア									
Mr. Fadi Subhi IBRAHIM EL - HUSSEINI	レバノン									
Mr. Sleiman EL - SKAF	レバノン									
Mr. Comissal Hortencio Pedro	モザンビーク									
Ms. DAW KHIN PYONE YEE	ミャンマー									
Mr. Muhammad Ayub	パキスタン									
Ms. WASHA Florence Lameck	タンザニア									
Mr. HOUSSSEIN ISMAEL Assowe	ジブチ									
Mr. AGYEMANG William	ガーナ									
Mr. Yohanes Ronny Priyo ANGGODO	インドネシア									
Ms. RAITSIMBAZAFY Nivo Lanto	マダガスカル									
Mr. MHEREMBI Charles	ジンバブエ									
Ms. MACHAKAIRE Fauna	ジンバブエ									
2	(集団) 都市型水質汚濁検査技術Ⅱ (第8回)	5	6	Mr. SMIT Francois Alwyn	南アフリカ共和国	03/5/20	61	366	12.2	札幌市衛生研究所
				Mr. MOTIL HABANE Rranokgosi Israel	南アフリカ共和国					
				Ms. Nontobeko TSEKI	南アフリカ共和国					
				Ms. Shirley Mabedi MOLEMA	南アフリカ共和国					
				Ms. Elizabeth Manini DUMANE	南アフリカ共和国					
				Ms. Paulinah Manku M. SETLALENTOA	南アフリカ共和国					
				Mr. ROMEO ESQUIVEL Luis Guillermo	コスタリカ					
				Mr. Said Nassir AL - SAADI	オマーン					
				Mr. PADDINGALAN Leo Lalusin	フィリピン					
Mr. ALDAFTAR Akram Alkutabi	シリア									
Mr. SUPRADISH NA AYUDHYA Rapee	タイ									
Mr. Basulwa Henry SBEULIBA	ウガンダ									
Mr. PANDILOV Zoran Atanas	マケドニア									
Mr. MINOVSKI Rovet Nove	マケドニア									
Mr. STEVKOVSKI Dragi Pance	マケドニア									
Ms. PETROVSKA Silvana Branislav	マケドニア									
Mr. LAZAROV Tomislav Nikola	マケドニア									
Mr. GEORGIEVSKI Dimitar Nove	マケドニア									
Mr. VRAB Frantisek	スロバキア									
Mr. Teotahi Adrian TEOTAH	クック諸島									
Mr. Roland CHITAY HERNANDEZ	グアテマラ									
Mr. Jamal ENAIA	パレスチナ									
Mr. Humberto SAMANIEGO	パラグアイ									
Mr. WERASEKARA GAMAEHIGE Chula Laxantha Weerasakera	スリランカ									
Ms. Bhekiwe V. DLAMINI	スワジランド									
Mr. Hugh MAVUSO	スワジランド									
Mr. Quddus Vusika FIELEA	トンガ									
Mr. HUONG Sarin	カンボジア									
Mr. NYANGONO Edou Paulletic	カメルーン									
Ms. Mustie Gebremedhin HAGOS	エリトリア									
Ms. Andrea Nicole DAWKINS	ジャマイカ									
Mr. Sheila Loraine JONES	ジャマイカ									
Ms. Raimundo Augusto BARBOSA	モザンビーク									
Ms. Feitzarda Fabi?o Macauno DGEDGE	モザンビーク									
Ms. Nola Maria MAIKA	バブアニューギニア									
Ms. Sonia Korowi VANO	バブアニューギニア									
Ms. Juliet KASANGWA	ルワンダ									
Ms. MARIACA Heredia Maria Rosnelly	ボリビア									
Mr. DERA Karima	ブルキナファソ									
Mr. MUTSYA David Kioko	ケニア									
Mr. Fadi Subhi IBRAHIM EL - HUSSEINI	レバノン									
Mr. Sleiman EL - SKAF	レバノン									
Mr. Comissal Hortencio Pedro	モザンビーク									
Ms. DAW KHIN PYONE YEE	ミャンマー									
Mr. Muhammad Ayub	パキスタン									
Ms. WASHA Florence Lameck	タンザニア									
Mr. HOUSSSEIN ISMAEL Assowe	ジブチ									
Mr. AGYEMANG William	ガーナ									
Mr. Yohanes Ronny Priyo ANGGODO	インドネシア									
Ms. RAITSIMBAZAFY Nivo Lanto	マダガスカル									
Mr. MHEREMBI Charles	ジンバブエ									
Ms. MACHAKAIRE Fauna	ジンバブエ									
3	(国別研修) マケドニア生産管理 (第1回)	6	7	Mr. SMIT Francois Alwyn	南アフリカ共和国	03/5/27	39	273	9.1	(北海道科学技術総合 振興センター)
				Mr. MOTIL HABANE Rranokgosi Israel	南アフリカ共和国					
				Ms. Nontobeko TSEKI	南アフリカ共和国					
				Ms. Shirley Mabedi MOLEMA	南アフリカ共和国					
				Ms. Elizabeth Manini DUMANE	南アフリカ共和国					
				Ms. Paulinah Manku M. SETLALENTOA	南アフリカ共和国					
				Mr. ROMEO ESQUIVEL Luis Guillermo	コスタリカ					
				Mr. Said Nassir AL - SAADI	オマーン					
Mr. PADDINGALAN Leo Lalusin	フィリピン									
Mr. ALDAFTAR Akram Alkutabi	シリア									
Mr. SUPRADISH NA AYUDHYA Rapee	タイ									
Mr. Basulwa Henry SBEULIBA	ウガンダ									
Mr. PANDILOV Zoran Atanas	マケドニア									
Mr. MINOVSKI Rovet Nove	マケドニア									
Mr. STEVKOVSKI Dragi Pance	マケドニア									
Ms. PETROVSKA Silvana Branislav	マケドニア									
Mr. LAZAROV Tomislav Nikola	マケドニア									
Mr. GEORGIEVSKI Dimitar Nove	マケドニア									
Mr. VRAB Frantisek	スロバキア									
Mr. Teotahi Adrian TEOTAH	クック諸島									
Mr. Roland CHITAY HERNANDEZ	グアテマラ									
Mr. Jamal ENAIA	パレスチナ									
Mr. Humberto SAMANIEGO	パラグアイ									
Mr. WERASEKARA GAMAEHIGE Chula Laxantha Weerasakera	スリランカ									
Ms. Bhekiwe V. DLAMINI	スワジランド									
Mr. Hugh MAVUSO	スワジランド									
Mr. Quddus Vusika FIELEA	トンガ									
Mr. HUONG Sarin	カンボジア									
Mr. NYANGONO Edou Paulletic	カメルーン									
Ms. Mustie Gebremedhin HAGOS	エリトリア									
Ms. Andrea Nicole DAWKINS	ジャマイカ									
Mr. Sheila Loraine JONES	ジャマイカ									
Ms. Raimundo Augusto BARBOSA	モザンビーク									
Ms. Feitzarda Fabi?o Macauno DGEDGE	モザンビーク									
Ms. Nola Maria MAIKA	バブアニューギニア									
Ms. Sonia Korowi VANO	バブアニューギニア									
Ms. Juliet KASANGWA	ルワンダ									
Ms. MARIACA Heredia Maria Rosnelly	ボリビア									
Mr. DERA Karima	ブルキナファソ									
Mr. MUTSYA David Kioko	ケニア									
Mr. Fadi Subhi IBRAHIM EL - HUSSEINI	レバノン									
Mr. Sleiman EL - SKAF	レバノン									
Mr. Comissal Hortencio Pedro	モザンビーク									
Ms. DAW KHIN PYONE YEE	ミャンマー									
Mr. Muhammad Ayub	パキスタン									
Ms. WASHA Florence Lameck	タンザニア									
Mr. HOUSSSEIN ISMAEL Assowe	ジブチ									
Mr. AGYEMANG William	ガーナ									
Mr. Yohanes Ronny Priyo ANGGODO	インドネシア									
Ms. RAITSIMBAZAFY Nivo Lanto	マダガスカル									
Mr. MHEREMBI Charles	ジンバブエ									
Ms. MACHAKAIRE Fauna	ジンバブエ									
4	(集団) 水道技術者養成Ⅱ (第1回)	8	8	Mr. SMIT Francois Alwyn	南アフリカ共和国	03/6/10	82	656	厚生労働省	札幌市水道局
				Mr. MOTIL HABANE Rranokgosi Israel	南アフリカ共和国					
				Ms. Nontobeko TSEKI	南アフリカ共和国					
				Ms. Shirley Mabedi MOLEMA	南アフリカ共和国					
				Ms. Elizabeth Manini DUMANE	南アフリカ共和国					
				Ms. Paulinah Manku M. SETLALENTOA	南アフリカ共和国					
				Mr. ROMEO ESQUIVEL Luis Guillermo	コスタリカ					
Mr. Said Nassir AL - SAADI	オマーン									
Mr. PADDINGALAN Leo Lalusin	フィリピン									
Mr. ALDAFTAR Akram Alkutabi	シリア									
Mr. SUPRADISH NA AYUDHYA Rapee	タイ									
Mr. Basulwa Henry SBEULIBA	ウガンダ									
Mr. PANDILOV Zoran Atanas	マケドニア									
Mr. MINOVSKI Rovet Nove	マケドニア									
Mr. STEVKOVSKI Dragi Pance	マケドニア									
Ms. PETROVSKA Silvana Branislav	マケドニア									
Mr. LAZAROV Tomislav Nikola	マケドニア									
Mr. GEORGIEVSKI Dimitar Nove	マケドニア									
Mr. VRAB Frantisek	スロバキア									
Mr. Teotahi Adrian TEOTAH	クック諸島									
Mr. Roland CHITAY HERNANDEZ	グアテマラ									
Mr. Jamal ENAIA	パレスチナ									
Mr. Humberto SAMANIEGO	パラグアイ									
Mr. WERASEKARA GAMAEHIGE Chula Laxantha Weerasakera	スリランカ									
Ms. Bhekiwe V. DLAMINI	スワジランド									
Mr. Hugh MAVUSO	スワジランド									
Mr. Quddus Vusika FIELEA	トンガ									
Mr. HUONG Sarin	カンボジア									
Mr. NYANGONO Edou Paulletic	カメルーン									
Ms. Mustie Gebremedhin HAGOS	エリトリア									
Ms. Andrea Nicole DAWKINS	ジャマイカ									
Mr. Sheila Loraine JONES	ジャマイカ									
Ms. Raimundo Augusto BARBOSA	モザンビーク									
Ms. Feitzarda Fabi?o Macauno DGEDGE	モザンビーク									
Ms. Nola Maria MAIKA	バブアニューギニア									
Ms. Sonia Korowi VANO	バブアニューギニア									
Ms. Juliet KASANGWA	ルワンダ									
Ms. MARIACA Heredia Maria Rosnelly	ボリビア									
Mr. DERA Karima	ブルキナファソ									
Mr. MUTSYA David Kioko	ケニア									
Mr. Fadi Subhi IBRAHIM EL - HUSSEINI	レバノン									
Mr. Sleiman EL - SKAF	レバノン									
Mr. Comissal Hortencio Pedro	モザンビーク									
Ms. DAW KHIN PYONE YEE	ミャンマー									
Mr. Muhammad Ayub	パキスタン									
Ms. WASHA Florence Lameck	タンザニア									
Mr. HOUSSSEIN ISMAEL Assowe	ジブチ									
Mr. AGYEMANG William	ガーナ									
Mr. Yohanes Ronny Priyo ANGGODO	インドネシア									
Ms. RAITSIMBAZAFY Nivo Lanto	マダガスカル									
Mr. MHEREMBI Charles	ジンバブエ									
Ms. MACHAKAIRE Fauna	ジンバブエ									
5	(集団) 母子保健人材育成 (第1回)	8	10	Mr. SMIT Francois Alwyn	南アフリカ共和国	03/6/17	39	390	13.0	旭川医科大学
				Mr. MOTIL HABANE Rranokgosi Israel	南アフリカ共和国					
				Ms. Nontobeko TSEKI	南アフリカ共和国					
				Ms. Shirley Mabedi MOLEMA	南アフリカ共和国					
				Ms. Elizabeth Manini DUMANE	南アフリカ共和国					
				Ms. Paulinah Manku M. SETLALENTOA	南アフリカ共和国					
Mr. ROMEO ESQUIVEL Luis Guillermo	コスタリカ									
Mr. Said Nassir AL - SAADI	オマーン									
Mr. PADDINGALAN Leo Lalusin	フィリピン									
Mr. ALDAFTAR Akram Alkutabi	シリア									
Mr. SUPRADISH NA AYUDHYA Rapee	タイ									
Mr. Basulwa Henry SBEULIBA	ウガンダ									
Mr. PANDILOV Zoran Atanas	マケドニア									
Mr. MINOVSKI Rovet Nove	マケドニア									
Mr. STEVKOVSKI Dragi Pance	マケドニア									
Ms. PETROVSKA Silvana Branislav	マケドニア									
Mr. LAZAROV Tomislav Nikola	マケドニア									
Mr. GEORGIEVSKI Dimitar Nove	マケドニア									
Mr. VRAB Frantisek	スロバキア									
Mr. Teotahi Adrian TEOTAH	クック諸島									
Mr. Roland CHITAY HERNANDEZ	グアテマラ									
Mr. Jamal ENAIA	パレスチナ									
Mr. Humberto SAMANIEGO	パラグアイ									
Mr. WERASEKARA GAMAEHIGE Chula Laxantha Weerasakera	スリランカ									
Ms. Bhekiwe V. DLAMINI	スワジランド									
Mr. Hugh MAVUSO	スワジランド									
Mr. Quddus Vusika FIELEA	トンガ									
Mr. HUONG Sarin	カンボジア									
Mr. NYANGONO Edou Paulletic	カメルーン									
Ms. Mustie Gebremedhin HAGOS	エリトリア									
Ms. Andrea Nicole DAWKINS	ジャマイカ									
Mr. Sheila Loraine JONES	ジャマイカ									
Ms. Raimundo Augusto BARBOSA	モザンビーク									
Ms. Feitzarda Fabi?o Macauno DGEDGE	モザンビーク									
Ms. Nola Maria MAIKA	バブアニューギニア									
Ms. Sonia Korowi VANO	バブアニューギニア									
Ms. Juliet KASANGWA	ルワンダ									
Ms. MARIACA Heredia Maria Rosnelly	ボリビア									
Mr. DERA Karima	ブルキナファソ									
Mr. MUTSYA David Kioko	ケニア									
Mr. Fadi Subhi IBRAHIM EL - HUSSEINI	レバノン									
Mr. Sleiman EL - SKAF	レバノン									
Mr. Comissal Hortencio Pedro	モザンビーク									
Ms. DAW KHIN PYONE YEE	ミャンマー									
Mr. Muhammad Ayub	パキスタン									
Ms. WASHA Florence Lameck	タンザニア									
Mr. HOUSSSEIN ISMAEL Assowe	ジブチ									
Mr. AGYEMANG William	ガーナ									
Mr. Yohanes Ronny Priyo ANGGODO	インドネシア									
Ms. RAITSIMBAZAFY Nivo Lanto	マダガスカル									
Mr. MHEREMBI Charles	ジンバブエ									
Ms. MACHAKAIRE Fauna	ジンバブエ									
6	(集団) 農民参加による 農業農村開発Ⅱ (第3回)	9	17	Mr. SMIT Francois Alwyn	南アフリカ共和国	03/7/25	153	5.1	農林水産省	緑資源公団
				Mr. MOTIL HABANE Rranokgosi Israel	南アフリカ共和国					
				Ms. Nontobeko TSEKI	南アフリカ共和国					
				Ms. Shirley Mabedi MOLEMA	南アフリカ共和国					
				Ms. Elizabeth Manini DUMANE	南アフリカ共和国					
Ms. Paulinah Manku M. SETLALENTOA	南アフリカ共和国									
Mr. ROMEO ESQUIVEL Luis Guillermo	コスタリカ									
Mr. Said Nassir AL - SAADI	オマーン									
Mr. PADDINGALAN Leo Lalusin	フィリピン									
Mr. ALDAFTAR Akram Alkutabi	シリア									
Mr. SUPRADISH NA AYUDHYA Rapee	タイ									
Mr. Basulwa Henry SBEULIBA	ウガンダ									
Mr. PANDILOV Zoran Atanas	マケドニア									
Mr. MINOVSKI Rovet Nove	マケドニア									
Mr. STEVKOVSKI Dragi Pance	マケドニア									
Ms. PETROVSKA Silvana Branislav	マケドニア									
Mr. LAZAROV Tomislav Nikola	マケドニア									
Mr. GEORGIEVSKI Dimitar Nove	マケドニア									
Mr. VRAB Frantisek	スロバキア									
Mr. Teotahi Adrian TEOTAH	クック諸島									
Mr. Roland CHITAY HERNANDEZ	グアテマラ									
Mr. Jamal ENAIA	パレスチナ									
Mr. Humberto SAMANIEGO	パラグアイ									
Mr. WERASEKARA GAMAEHIGE Chula Laxantha Weerasakera	スリランカ									
Ms. Bhekiwe V. DLAMINI	スワジランド									
Mr. Hugh MAVUSO	スワジランド									
Mr. Quddus Vusika FIELEA	トンガ									
Mr. HUONG Sarin	カンボジア									
Mr. NYANGONO Edou Paulletic	カメルーン									
Ms. Mustie Gebremedhin HAGOS	エリトリア									
Ms. Andrea Nicole DAWKINS	ジャマイカ									
Mr. Sheila Loraine JONES	ジャマイカ									
Ms. Raimundo Augusto BARBOSA	モザンビーク									
Ms. Feitzarda Fabi?o Macauno DGEDGE	モザンビーク									
Ms. Nola Maria MAIKA	バブアニューギニア									
Ms. Sonia Korowi VANO	バブアニューギニア									
Ms. Juliet KASANGWA	ルワンダ									
Ms. MARIACA Heredia Maria Rosnelly	ボリビア									
Mr. DERA Karima	ブルキナファソ									
Mr. MUTSYA David Kioko	ケニア									
Mr. Fadi Subhi IBRAHIM EL - HUSSEINI	レバノン									
Mr. Sleiman EL - SKAF	レバノン									
Mr. Comissal Hortencio Pedro	モザンビーク									
Ms. DAW KHIN PYONE YEE	ミャンマー									
Mr. Muhammad Ayub	パキスタン									
Ms. WASHA Florence Lameck	タンザニア									
Mr. HOUSSSEIN ISMAEL Assowe	ジブチ									
Mr. AGYEMANG William	ガーナ									
Mr. Yohanes Ronny Priyo ANGGODO	インドネシア									
Ms. RAITSIMBAZAFY Nivo Lanto	マダガスカル									
Mr. MHEREMBI Charles	ジンバブエ									
Ms. MACHAKAIRE Fauna	ジンバブエ									
7	(集団) 道路技術 (第8回)	5	6	Mr. SMIT Francois Alwyn	南アフリカ共和国	03/7/8	59	03/9/4	11.8	札幌市建設局
				Mr. MOTIL HABANE Rranokgosi Israel	南アフリカ共和国					
				Ms. Nontobeko TSEKI	南アフリカ共和国					
				Ms. Shirley Mabedi MOLEMA	南アフリカ共和国					
Ms. Elizabeth Manini DUMANE	南アフリカ共和国									
Ms. Paulinah Manku M. SETLALENTOA	南アフリカ共和国									
Mr. ROMEO ESQUIVEL Luis Guillermo	コスタリカ									
Mr. Said Nassir AL - SAADI	オマーン									
Mr. PADDINGALAN Leo Lalusin	フィリピン									
Mr. ALDAFTAR Akram Alkutabi	シリア									
Mr. SUPRADISH NA AYUDHYA Rapee	タイ									
Mr. Basulwa Henry SBEULIBA	ウガンダ									
Mr. PANDILOV Zoran Atanas	マケドニア									
Mr. MINOVSKI Rovet Nove	マケドニア									
Mr. STEVKOVSKI Dragi Pance	マケドニア									
Ms. PETROVSKA Silvana Branislav	マケドニア									
Mr. LAZAROV Tomislav Nikola	マケドニア									
Mr. GEORGIEVSKI Dimitar Nove	マケドニア									
Mr. VRAB Frantisek	スロバキア									
Mr. Teotahi Adrian TEOTAH	クック諸島									
Mr. Roland CHITAY HERNANDEZ	グアテマラ									
Mr. Jamal ENAIA	パレスチナ									
Mr. Humberto SAMANIEGO	パラグアイ									
Mr. WERASEKARA GAMAEHIGE Chula Laxantha Weerasakera	スリランカ									
Ms. Bhekiwe V. DLAMINI	スワジランド									
Mr. Hugh MAVUSO	スワジランド									
Mr. Quddus Vusika FIELEA	トンガ									
Mr. HUONG Sarin	カンボジア									
Mr. NYANGONO Edou Paulletic	カメルーン									
Ms. Mustie Gebremedhin HAGOS	エリトリア									
Ms. Andrea Nicole DAWKINS	ジャマイカ									
Mr. Sheila Loraine JONES	ジャマイカ									
Ms. Raimundo Augusto BARBOSA	モザンビーク									
Ms. Feitzarda Fabi?o Macauno DGEDGE	モザンビーク									
Ms. Nola Maria MAIKA	バブアニューギニア									
Ms. Sonia Korowi VANO	バブアニューギニア									
Ms. Juliet KASANGWA	ルワンダ									
Ms. MARIACA Heredia Maria Rosnelly	ボリ									

No	研修科目	定員	受入数	氏名	国	名	受入期間	受入日数	入日	入月	関係省庁	研修機関																				
8	(集団) 農産水産食品の安全管理 (サブ・サハラアフリカ諸国) (第4回)	5	6	Mr. Anselmo Ouma MAKOKHA	ケニア		03/8/5	55	330	11.0		酪農学園大学																				
				Mr. Stephen Augustine LUKANGA	タンザニア																											
				Mr. Tchapko TICHEMI TCHAMBI	トーゴ																											
				Mr. Abou-el-Nuru NDIFFUNA	ウガンダ																											
9	中米生活廃棄物処理 (第2回)	9	9	Ms. Hilary Moono Siamuzvulu CHIBIYA	ザンビア		03/8/12	48	432	14.4		(財)日本環境衛生センター 札幌市環境局																				
				Ms. Ruth NAKAZWE	ザンビア																											
				Mr. Franco Daniel LACOSTA VARGAS	コスタリカ																											
				Ms. Cintia Anais MARINEZ GARRASCO	ドミニカ共和国																											
				Ms. Marlene Isabel SOLANO DE GONZALEZ	エルサルバドル																											
				Mr. Julio Cesar DOMINGUEZ ELIAS	エルサルバドル																											
				Mr. Mario Roberto HERNANDEZ MORAN	グアテマラ																											
				Mr. Luis Mauricio ALVARENGA RODRIGUEZ	ホンジュラス																											
				Mr. Pedro Jose SOTELO	ニカラグア																											
				Mr. Leonel Enrique LOPEZ REYES	ニカラグア																											
10	下水道維持管理Ⅱ (第1回)	6	6	Mr. Pablo Simmons LEWIS	パナマ		03/8/12	62	372	12.4		札幌市下水道局																				
				Mr. KHEM Sandap	カンボジア																											
				Mr. German Alexis GARCIA GUERRA	ホンジュラス																											
				Ms. Emah Sudimah TANJUNG	インドネシア																											
				Mr. Mansoor MORAD HASSELI	イラン																											
				Mr. Shakeel Ahmed KASHMIRI	パキスタン																											
				Mr. Albert Buluked PHILIP	パナマ																											
				Ms. Fatm ABASIDI	ナイジェリア																											
				Ms. IGBINOBA Nogiezu Ogieva	ナイジェリア																											
				Ms. JAJA Frederica Oluyafunmiayo	ナイジェリア																											
11	(国別研修) ナイジェリアHIV感染予防対策 (第2回)	5	4	Ms. Ngozi Chinyere Regina NWANERIH	ナイジェリア		03/8/26	26	104	3.5		北海道大学医学部																				
				Ms. Henat Mahmoud Abd Elmataey EL-SAYED	エジプト																											
				Ms. Inas Abd El-Rafie El-Said ASSAR	エジプト																											
				Ms. Hedeiya Mohamed Moawad SHAAABAN	エジプト																											
				Ms. Amal Saad Eldin Ahmed SALEM	エジプト																											
				Ms. Sanaa Samy Anis AWAD	エジプト																											
				Ms. NAHAPETIAN Efo	アルメニア																											
				Mr. OSIPOV Vardges	アルメニア																											
				Ms. GURBANOVA Sevinc Idris	アゼルバイジャン																											
				Ms. BUDAGOVA Aigun Jasar	アゼルバイジャン																											
12	(国別研修) エジプト看護教育手法 (第3回)	6	5	Ms. LAGVILAVA Ekaterina	グルジア		03/8/26	83	415	13.8		天使大学																				
				Ms. ALNAZAROVA Akmaral Sharipbaeva	カザフスタン																											
				Ms. SAGINBAEVA Dinara Zarykova	キルギスタン																											
				Ms. MUHIDDINOVA Gluchera Iromiddinoviya	タジキスタン																											
				Ms. ALIEVA Rano Yakubovna	タジキスタン																											
				Ms. YADGAROVA Klara Takhirovna	ウズベキスタン																											
				Mr. YAKUBOV Durumbai	ウズベキスタン																											
				Mr. Zahir Abdel-farah ABU-ZARROOR	ヨルダン																											
				Mr. BAUTISTA Benjamin Abesamis	フィリピン																											
				Mr. E.M.S.K.EDIRISINGHE	スリランカ																											
13	(集団) 中央アジア母子保健行政 (第2回)	13	11	Mr. WILLIE Watson Manuriki	バヌアツ		03/9/9	26	286	9.5		北海道保健福祉部																				
				Mr. Panjai JOSHI	インド																											
				Mr. Konosko DUANGDARA	ラオス																											
				Ms. PUSCASU Renata - Mihaela	ルーマニア																											
				Mr. CRISTODULO George Apollon	ルーマニア																											
				Mr. ISAKOV Muzaffar	タジキスタン																											
				Mr. NURULLOEV Abror Murtazoevich	タジキスタン																											
				Mr. Md. Nurul HAQUE	バングラデシュ																											
				Mr. Javier Hernan FIGUEROA Orozco	ボリビア																											
				Ms. Mariela Joanna TRUJILLO Martinez	チリ																											
14	(集団) 地域土木行政セミナーⅡ (第3回)	5	4	Ms. Evtia BOES	中国		03/9/9	47	188	6.3		北海道建設部																				
				Ms. HOU Xueying	中国																											
				Ms. Evtia BOES	インドネシア																											
				15	(集団) 地域開発計画管理Ⅱ (第1回)	7							6	Ms. Evtia BOES	中国		03/9/9	54	324	10.8	国土交通省	北海道開発局										
														Ms. HOU Xueying	中国																	
														Ms. Evtia BOES	インドネシア																	
														16	(集団) 地域環境保全技術 (第4回)	5							5	Ms. Evtia BOES	中国		03/9/9	76	380	12.7		北海道環境科学研究所 ター
																								Ms. HOU Xueying	中国							
																								Ms. Evtia BOES	インドネシア							

No	研修科目	定員	受入数	氏名	国名	受入期間	受入日数	人日	関係省庁	研修機関
17	(集団) 産業動物の獣医技術 (第3回)	6	7	Mr. Mariano Julio NAHUM	アルゼンチン	03/9/9	97	679		北海道獣医師会
				Ms. Sabrina Martins LATORRE	ブラジル					
				Mr. Fabiano Carminatti ZAGO	ブラジル					
				Ms. Riteshni TARAK	フィジー					
				Ms. Sherry Ama Mawuko ELEBLU	ガナナ					
				Mr. Jose Jesus VAZQUEZ PEREZ	メキシコ					
18	(国別研修) 南アジアIT人材育成 (第3回)	6	5	Mr. Md. Shahriar Kader SIDDIKY	バングラデシュ	03/9/30	34	170		動さっぽろ産業振興財団
				Mr. YADAV Sumir Singh	インド					
				Mr. Thaman Singh THAPA	ネパール					
				Ms. Alia ZAFAR	パキスタン					
				Mr. KULAPPU ARACHCHIGE Lalithadheera	スリランカ					
				Ms. Conka Ivanova DRYANKOVA	ブルガリア					
19	(国別研修) 東欧陸産物処理行政 (第2回)	6	7	Ms. Lidia ROMANCIUC	モルドバ	03/9/30	41	287		動日本環境衛生センター 札幌市環境局
				Mr. SOLEA Mihai Florin	ルーマニア					
				Mr. TESSIC Zoran Dragoslav	セルビア・モンテネグロ					
				Ms. Viadica Vladimír CUDIC	セルビア・モンテネグロ					
				Mr. BOSHEV Zoran	マケドニア					
				Ms. Svitlana SUKHOREBRA	ウクライナ					
20	(国別研修) コロンビア地方行政開発計画 (第1回)	10	10	Mr. Alberto ARIZA ALMANZAR	コロンビア	03/10/1	59	590		江別市
				Ms. Maria Editha CAMPUZANO ROJAS	コロンビア					
				Mr. William Persy GAITAN MEDINA	コロンビア					
				Ms. Ingrid Mabel GALVIS AYALA	コロンビア					
				Ms. Sijima Yolanda GUTIERREZ HERNANDEZ	コロンビア					
				Ms. Ana Haydee MATIZ PARDO	コロンビア					
21	(国別研修) 東欧環境行政 (第12回)	8	8	Ms. Luz Amanda PULIDO	コロンビア	03/10/7	39	312		札幌市環境局
				Ms. Margarita Maria RICARDO AVILA	コロンビア					
				Mr. NEDEV Georgi Krastev	ブルガリア					
				Ms. CERMAKOVA Hana	チェコ					
				Mr. ALA Taimar	エストニア					
				Mr. GOSZTONY Adam	ハンガリー					
22	(国別研修) 東アジア寒冷地 水道技術者養成 (第3回)	6	6	Ms. VESERE Rudite	ラトビア	03/10/14	59	354		札幌市水道局
				Ms. BRAILESCU Cristina Elena	ルーマニア					
				Ms. NICHITA Liliana	ルーマニア					
				Mr. CUBRIK Miloslav	スロバキア					
				Mr. Karma WANGDI	ブータン					
				Mr. WANG Yue	中国					
23	(集団) 新生児マススクリーニング (クレチン症・ フェニルケトン尿症) (第4回)	8	8	Ms. ALTANBAGANA Ganuva	モンゴル	03/10/28	55	440		札幌市衛生研究所
				Mr. Biman Kumar PAUDEL	ネパール					
				Mr. Madhukar Prasad RAJBHANDARI	ネパール					
				Mr. Claudia Jeannette JIMENEZ de Alas	アルゼンチン					
				Ms. GONZALEZ CONTRERAS Claudia Rebeca	エルサルバドル					
				Mr. Syed Jamal RAZA	パキスタン					
24	(国別研修) 中央アジア経営管理 (第7回)	10	5	Ms. Patricia Marlene RONDON Linares	ペルー	03/11/5	38	190		動北海道科学技術総合 振興センター
				Ms. Olga Maria VALDIVIA Torres	ペルー					
				Ms. Duangrudee WATTANASIRICHAIGOON	タイ					
				Ms. MUSUKI John	ザンビア					
				Mr. HOVHANNISYAN Ashot	アルメニア					
				Mr. HASANOV Fuad	アゼルバイジャン					

No	研修科目	定員/受入数	氏名	国名	受入期間	受入日数	入日	関係省庁	研修機関
25	(集団) エレクトロニクス技術 (コンピュータ・インターネット・フューズ) (第5回)	10	Mr. Anderson Pereira MORAES	ブラジル	03/11/11	100	26.7		(財)さっぽろ産業振興財団
			Mr. Ricardo JARDIM	ブラジル					
			Mr. Yulong BAI	中国					
			Mr. Mustafa Mohamed Shiple Nabeh Afify AWAD	エジプト					
			Mr. Mohamed Ahmed Wahby Mohamed Amin SHALABY	エジプト					
26	(国別研修) パキスタン民主化支援 (第3回)	5	Mr. Faiez Jacob Musembi NDUNGI	ケニア	03/12/2	25	4.2		札幌市総務局 職員部自治研修センター
			Mr. NAULLAGE Manoi Chaminda	スリランカ					
			Mr. Alibek Uiebekovich UMBETOV	ウズベキスタン					
			Mr. Shoukat ALI	パキスタン					
			Mr. Naseer AHMAD	パキスタン					
27	(国別特設) パレスチナ地方自治体行政 (第5回)	7	Mr. Imran SIKANDAR Baloch	パキスタン	04/1/6	41	16.4		札幌市総務局 職員部自治研修センター
			Mr. Zahir SHAH	パキスタン					
			Mr. Shakeel AHMED Mian	パキスタン					
			Mr. Ali Nimer Sabbobeh	パレスチナ					
			Mr. Hatem Lotfee Masalam	パレスチナ					
			Mr. Murad Al Shaveb	パレスチナ					
			Mr. Moayyad Mohammad Ali	パレスチナ					
			Mr. Alfetvami Ibrahim Mohammad	パレスチナ					
			Mr. Yousef Shihadeh	パレスチナ					
			Mr. Nizam Omari	パレスチナ					
			Mr. Mousa Ghaiith	パレスチナ					
			Mr. Aynan Almusaddar	パレスチナ					
28	(国別研修) 東欧生産管理 (第1回)	10	Mr. Farid Mansour Salim	パレスチナ	04/2/15	41	13.7		北海道科学技術総合 振興センター
			Mr. Amin Abushammala	パレスチナ					
			Mr. Hasan Hussein Al Saifi	パレスチナ					
			Ms. ZHAKA Pranvera	アルバニア					
			Ms. KERCIKU Brunilda	アルバニア					
			Ms. ALIAJ Aurela Myqerem	アルバニア					
			Mr. FAZLIJU Safet	コソボ					
			Mr. GRAJCEVICI Naser	コソボ					
			Mr. NAVAKAZI Bashkim	コソボ					
			Mr. BUGAN Milos	スロバキア					
29	(集団) 地方教育行政セミナー (サブ・サハラアフリカ諸国) (第7回)	10	Mr. HULIN Milan	スロバキア	04/1/21	33	17.6		札幌市教育センター
			Mr. VALICA Rastislav	スロバキア					
			Mr. Vitaliy YURKIV	ウクライナ					
			Mr. OUEDRAOGO Aboutakar	ブルキナファソ					
			Mr. DAHIGO Gueze Habraham Aime	コートジボアール					
			Ms. KIDANEKAL Asegedech Shawl	エチオピア					
			Mr. DROEFENU Peter Wilberforce	ガーナ					
			Ms. Jane Jekemboi MTANGE	ケニア					
			Ms. Mary Wansechi GATURU	ケニア					
			Mr. KALANDA Samson Chinkudzu Hanriford	マラウイ					
			Mr. BANDA Billie Chikhwana	マラウイ					
			Ms. MUSSA Chikondano Christina	マラウイ					
			Mr. OULD SALEM Abdellahi Ahmed	モリタニア					
			Mr. Jossias Joao LANGA	モザンビーク					
			Mr. Kalidou NDIAYE	セネガル					
			Mr. Benedict A. Daniel Mthi	タンザニア					
Mr. Mbwana Soud MAGOTTA	タンザニア								
Mr. MALLYA Danstan Lucas	タンザニア								
Mr. NOAH Godwin Sifuel	タンザニア								

No	研修科目	定員受入数	氏名	国名	受入期間	受入日数	人日	関係省庁	研修機関
30	(国別研修) 中央アジア地域開発セミナー (第7回)	10	Ms. GAMARNIK Svetlana Gerdievna	カザフスタン	04/1/20	39	429	国土交通省	北海道開発局
			Mr. KASHENOV Baurzhan Turakanovich	カザフスタン					
			Mr. KOSHMURATOV Murathan Gafarovich	キルギス					
			Ms. SYDYKOVA Gulmira Kakyevna	キルギス					
			Mr. TOKSOBAEV Bulat	キルギス					
			Mr. KYLIEV Samat Askerbekovich	タジキスタン					
			Mr. ULFATOV Abduqumun Makhmudovich	タジキスタン					
			Mr. DJURAEV Azim	ウズベキスタン					
			Mr. DUSKORAEV Ravshanbek	ウズベキスタン					
			Mr. BURIEV Pahlavon Kahramonovich	ウズベキスタン					
			Mr. TIAMIYOU Ibouza'ima	ベナン					
31	(集団) 食品保健行政 (アフリカ諸国) (第8回)	10	Ms. GNAGNE GAUZE Loweve Jeanette Chantal	コートジボアール	04/1/20	48	384	12.8	札幌市保健福祉局
			Ms. ALABI Goski Bortorkor	ガーナ					
			Mr. KITHIHA Justus Mulei	ケニア					
			Mr. NDIAYE Meissa	セネガル					
			Ms. KAMUGISHA Winifrida Patrick	タンザニア					
			Ms. MODIOSO Tanah DIANKLA	トーゴ					
			Mr. NYIRENDA Wilson	ザンビア					
			Ms. Patricia Marcela MUZULIN	アルゼンチン					
			Mr. Eric Manuel DIAZ Guzman	チリ					
			Mr. Wuliji Tegusi	中国					
			Mr. XIE Jianing	中国					
32	(集団) エキノコックス症対策 (第5回)	5	Ms. TSENDEEKHUU Naidansuren Zaanud	モンゴル	04/1/20	62	434	14.5	北海道立衛生研究所
			Ms. Lijian Maria CHENA VARELA	パラグアイ					
			Ms. Maria Teresa Armua Fernandez	ウルグアイ					
			Ms. Yaneth de la Trinidad Vicuna	ペネズエラ					
			Ms. Yris Teresa Martin Marquez	ペネズエラ					
			Ms. Diana Rojas Ruiz	ペネズエラ					
			Ms. Isa Mercedes Sierra Flores	ペネズエラ					
			Mr. MAMEDOV Ilgar	アゼルバイジャン					
			Mr. TALIBOV Rafal	アゼルバイジャン					
			Mr. RAKHIMBERGENOV Murat	カザフスタン					
			Ms. BESSEMBAYEVA Zhanel	カザフスタン					
33	(国別研修) ペネズエラ女性零細ビジネス 振興セミナー (第1回)	4	Mr. SALMAKHEV Doolotbek	キルギス	04/2/11	33	132	4.4	(財)北海道科学技術総合 振興センター
			Mr. GULAKHMADOV Khaydaz	タジキスタン					
			Mr. TURDIMATOV Raktbdjon	タジキスタン					
			Mr. DAVLATOV Tavarali	タジキスタン					
			Mr. AHMEDIV Dovran	トルクメニスタン					
			Ms. SAFAROVA Ruzigul	ウズベキスタン					
			Mr. SAFAROV Ilhon	ウズベキスタン					
			Ms. REN Ying	中華人民共和国					
			Mr. ZHAI Lixin	中華人民共和国					
			Mr. ZHANG Jiadiang	中華人民共和国					
			Mr. WANG Huacun	中華人民共和国					
34	(国別研修) 中央アジア環境行政 (第11回)	12	Mr. ZHANG Zongliang	中華人民共和国	04/2/18	31	341	11.4	札幌市環境局
			Mr. MA Songyao	中華人民共和国					
			Mr. MENG Wen	中華人民共和国					
			Mr. HUANG Bin	中華人民共和国					
			Ms. ZHOU Yan	中華人民共和国					
			Mr. YIN Junliang	中華人民共和国					
			Ms. ZENG Yu	中華人民共和国					
			Mr. XU Zhijiang	中華人民共和国					
			Ms. ZHAO Jialing	中華人民共和国					
			Mr. YANG Chunming	中華人民共和国					
			Mr. ZHANG Mingzhu	中華人民共和国					
35	(国別研修) 中国西部地区行政実務者研修 (第2回)	15	Ms. GNAGNE GAUZE Loweve Jeanette Chantal	コートジボアール	04/3/2	26	390	13.0	国土交通省 北海道開発局
			Ms. ALABI Goski Bortorkor	ガーナ					
			Mr. KITHIHA Justus Mulei	ケニア					
			Mr. NDIAYE Meissa	セネガル					
			Ms. KAMUGISHA Winifrida Patrick	タンザニア					
			Ms. MODIOSO Tanah DIANKLA	トーゴ					
			Mr. NYIRENDA Wilson	ザンビア					
			Ms. Patricia Marcela MUZULIN	アルゼンチン					
			Mr. Eric Manuel DIAZ Guzman	チリ					
			Mr. Wuliji Tegusi	中国					
			Mr. XIE Jianing	中国					

4-1. 国別（個別型）／長期／日系／草の根技術協力（地域提案型）研修員受入実績内訳

種別 No	研修科目	コース番号	氏名	国名	開始日	終了日	日数	※	研修機関	場所	プロジェクト名/事業種別
1	牛不受胎率対策技術	J-03-20729	Mr. PHAN Le Son	ベトナム	03/7/5	03/8/6	33	B	畜産改良センター、トータルハードマナー・ドマナー・ジュニア・トピア・ビス、鹿角学園大学獣医学部臨床解剖学教室	別府 江別	人工授精技術向上計画
2	繁殖管理	J-03-20733	Mr. TRINH Quang Phong	ベトナム	03/7/5	03/8/6	33	B			
3	畜産改良普及技術実地研修	J-03-20653	Mr. AMMI Abdellah	モロッコ	03/7/21	03/8/16	27	A	北海道水産林務部	網走他	畜産改良普及システム整備計画
4			Mr. SENGLATY Sombhit	ラオス			32	A			
5			Mr. VONGKHAMHENG Kaysone	ラオス			32	A			
6			Mr. Pontillo Menendez Oliverio Bakdemar	グアテマラ	03/8/12	03/9/12	32	A	JICA	札幌	技術協力個別案件
7	農村振興セミナー	J-03-20699	Mr. Csereth Cisobal CORRALES RAMIREZ	ホンジュラス	03/8/12	03/9/12	32	A			
8			Mr. SINDANI Fidelis Khwima	マラウイ			32	A			
9			Mr. SHAABAN Shaaban Abdujalalik	タンザニア			32	A			
10	中米生体資源処理 (国別中米生体資源処理)コースに個別参加)	J-03-21295	Mr. ACOSTA LORJA Carlos Javier	メキシコ	03/8/12	03/9/28	48	A	財日本環境衛生センター、札幌市環境局	札幌	ユカタン半島東部沿岸地域衛生環境管理計画(開発調査)
11	下水道維持管理Ⅱ (集団下水道維持管理Ⅱ)コースに個別参加)	J-03-20740	Mr. Mani Jai Prakash	インド	03/8/12	03/10/12	62	A	札幌市下水道局	札幌	ガンスン河汚染対策流域環境管理計画(開発調査)
12			Ms. OYUNTUYA Dovdon				13	A			
13	ビジネスコース日本実地研修	J-03-21201	Mr. BATTARGAL Bakhuyag	モンゴル	03/8/18	03/8/30	13	A	小林経営研究所	札幌	モンゴル日本人材開発センタープロジェクト
14			Mr. SHOVDOR Enkhur	モンゴル			13	A			
15	施設管理及びビジネスコース 日本実地研修	J-03-21152	Mr. SUKHBAT Ganterdene	モンゴル	03/8/18	03/9/13	27	A	小林経営研究所、網走シービーエスビルサービス	札幌	
16	未利用資源の飼料化技術	J-03-20656	Mr. Zhang, Yi-Fu	中国	03/8/29	03/11/8	72	A	畜産改良センター	新冠	黒龍江省酪農乳業開発計画
17	鉄道線路維持管理	J-03-20739	Mr. Lhamngacha Jargalsaikhan	モンゴル	03/9/1	03/9/27	27	A	㈲パシフィックコンサルタントインターナショナル	札幌	鉄道線路基盤改修計画
18			Ms. Khotolokhuu Mungunnya	モンゴル	03/9/1	03/9/27	27	A			
19	植物病、生物防除	J-03-20927	Ms. Viviana Ester YOSSEN	アルゼンチン	03/9/4	03/10/4	31	A	北海道大学大学院農学研究所	札幌	土壌伝染性植物病害の生物的防除
20	木材の染色性と染色木材の耐光性	J-03-20943	Mr. Li, Chuan-Seng	中国	03/9/8	03/11/7	61	B	北海道立林産試験場、旭川市	旭川	人工林木材研究計画
21	地産土木行政セミナーⅡ (集団地産土木行政セミナーⅡ)コースに個別参加)	J-03-21626	Mr. MARQUES Ocairio Pereira Monteiro	東チモール	03/9/9	03/10/25	47	A	北海道建設部	札幌	運輸関係公共事業省・政策立案運営能力向上
22			Ms. Arleth Carneiro NEPOMUCENO				22	B			
23	農村社会開発と農業普及の手法	J-03-21630	Ms. Flavia Cristina Dos SANTOS	ブラジル	03/9/30	03/10/21	22	B	北海道庁 十勝農業試験場	芽室他	トカンチン州小規模農家農業技術普及システム強化計画
24			Ms. Rosilene Naves DOMINGOS				22	B			
25			Ms. Rosângela Braga BARROS				22	B			
26			Ms. LOTFY Hala Mohamed Tawfic				41	A			
27			Mr. ABDEL HAMIED EBADAD Nasser Elysed				41	A			
28	小学校理科授業改善	J-03-20992	Mr. TAWFIK Raouf Azmy	エジプト	03/10/21	03/11/30	41	A	北海道教育大学 北海道内の小学校	札幌	小学校理科教育改善
29			Ms. EL SHEHRY Eman Aly Mahmoud Aly				41	A			
30			Ms. EL HARON Shajmaa Hamoda				41	A			
31	工業自動車技術教育 (集団エレクトロニクス技術)コースに個別参加)	J-03-20769	Mr. Gurcan BILDIR	トルコ	03/11/17	04/2/18	94	B	㈲さっぽろ産業振興財団	札幌	自動車技術教育改善計画

国別（個別型）

種別	No	研修科目	コース番号	氏名	国名	開始日	終了日	日数	※	研修機関	場所	プロジェクト名/事業種別							
国別 (個別型)	32	学校運営管理	J-03-20987	Ms. AYUB Laifa Abd el Samea Ms. EL ZAHABY Sameha Essawy	エジプト	03/12/2	03/12/15	14	A	北海道教育大学 北海道教育委員会 他	札幌	小学校理数科教育改善							
	34	カリキュラム改訂	J-03-20620	Ms. Hay Hay Han	ミャンマー	04/3/31	04/4/15	16	A	北海道教育大学岩見沢校	岩見沢	基礎教育改善計画調査							
	35			Ms. Aye Aye Cho															
	36			Ms. Myint Myint Than															
	37			Ms. Joanna															
	1			Mr. NYOMAN Sawartha															
	長期	1	火山地域総合防災プロジェクト	J-02-11579	Mr. NYOMAN Sawartha	インドネシア	03/2/18	05/3/31	773	A	北海道大学大学院農学研究科	札幌	長期研修員						
2		地震学、地震・火山観測網強化計画	J-02-11578	Ms. Antonia Vidarno Bomas	フィリピン	03/3/25	05/9/30	921	A	北海道大学大学院理学研究科地球惑星科学専攻	札幌								
日系		1	保母・幼児教育	J-02-50047	Ms. Patricia Yumi HIURA	ブラジル	02/4/1	04/3/19	719	B	管内学園札幌幼児保育専門学校	札幌	日系(個別・長期技術)						
		2	チャットネットワークル合金	J-03-50107	Mr. Albelito TERAMOTO Ohara	メキシコ	03/8/12	05/8/28	17	B	トミー一橋、北海道大学歯学部	札幌							
		3	環境リモートセンシング	J-03-50087	Mr. Flavio OHASHI	ブラジル	04/2/11	04/3/14	33	B	酪農学園大学環境システム学部	江別	日系(個別・短期研究交流型)						
		4	ブルトニウムの有効利用	J-03-50098	Ms. Murtami Viviana ISHIDA FUKAMI	アルゼンチン	04/2/19	04/3/21	32	B	北海道大学大学院工学研究科量子エネルギー工学専攻	札幌							
		1	農民参加型用水管理システム	J-03-80002	Mr. BUDISANTOSO Scepapuo	インドネシア	03/6/10	03/8/13	65	A	旭川土地改良区	旭川							
2	Mr. Padauman Silas GALA																		
3	Mr. JUHARSYAH Edy																		
草の根技術師力 (地域提案型)	4	バイオアブリケット技術を用いた代替燃料	J-03-80001	Ms. CHIOTHA Genude Stalin	マラウイ	03/6/13	03/10/30	140	A	旭川国際交流協会	滝川	草の根技術師力 (地域提案型)							
	5			Ms. KUMWELA Martha Andra															
	6			Mr. ZARAY Gyula															
	7			Mr. NAGY Sandor															
	8			Mr. FANG Jing															
	9	Mr. ZHANG Xingye																	
	10	バイオアブリケット技術を用いた代替燃料	J-03-80004	Mr. VARIAS Peter	ハンガリー	03/8/12	03/9/26	46	A	北海道立工業試験場	札幌								
建設技術	11	バイオアブリケット技術を用いた代替燃料	J-03-80004	Mr. Gabor MUCSI	ハンガリー	04/2/24	04/3/24	30	A	北海道立工業試験場	札幌								
	12			建設技術				J-03-80080	Mr. Wenguang YIN				中国	04/3/7	04/3/21	15	A	札幌市建設局	札幌
	合計 30コース			合計 55名				延べ入日数 4,410											

4-2. 便宜供与実績内訳

種別	研修科目	コース番号	氏名	国名	開始日	終了日	日数	※	研修機関	場所	プロジェクト名/事業種別
1	消化器内視鏡	J-02-11688	Mr. Horacio Alejandr Ortega Martinez	メキシコ	03/6/1	03/7/21	51	C	札幌厚生病院	札幌	日量交流計画
2			Mr. Edmundo Valencia Medina								
3			Mr. Jacinto Bautista Garcia								

※開始日・終了日・日数は、Aは全体受入期間、B・Cは当センター管内受入期間。

5. 集団／国別研修コース概要

コース名	受入数	受入期間	目 標	コ ー ス 概 要	内 容
1 (国別研修) 南アフリカ地域開発行 政セミナー	6	03年5月20日 / 03年6月29日	(1)中央政府による北海道総合開発について理解する。 ・目的と組織体制 ・北海道総合開発計画の推進、評価・管理手法 (2)地域開発における地方政府の役割、地域開発施策につ いて理解する。 (3)地域開発推進に際し、住民参加の重要性及び環境への 配慮について理解する。 (4)北海道総合開発手法の自国へ適応性を探る。	講義及び視察・見学の組み合わせによる以下の研修項目から構成される (1)北海道総合開発の体制 (6)開発事業 (2)開発計画概論 (7)産業政策 (3)地方経済構造の分析 (8)事例研究 (4)札幌のまちづくり (9)カントリーレポート発表 (5)地域開発金融 (10)スタディレポート発表	
2 (集団) 都市型水質汚濁検査技 術Ⅱ	6	03年5月20日 / 03年7月19日	(1)水質汚濁による環境汚染について、科学的視点に基づ き行政を進めるために必要とされる水質検査技術を体系 的に習得する。 (2)都市における水質汚濁防止対策を、札幌市の経験を例 として総合的に理解することにより、未然防止対策の重 要性を認識し、各国が水質保全行政を充実していく上で 求められる知識を習得する。	検査実習に重点を置き、講義・実習・見学等により構成される。主な研修項 目は以下の通り。 (1)講義：札幌市の水質汚濁防止対策、水質汚濁物質等の検査法など (2)実習：河川水検査、飲料水検査、水系病原細菌検査、有害物質検査、酸性 雨検査 (3)見学：上下水道施設、廃棄物処理施設、工場排水処理施設、環境監視セン ター、環境教育関連施設、企業の公害防止施設など	
3 (国別研修) マケドニア生産管理	7	03年5月27日 / 03年7月4日	(1)日本の実践的な生産計画・管理にそつた基礎知識と応 用の習得。 (2)生産計画・生産管理分野の基礎的・先進テクニク と、最近の動向と展開について理解する。 (3)生産計画・生産管理についての生産性向上のための関 連手法の理解。 (4)顧客主導型の企業経営理論と生産計画・生産管理間の 相関関係の把握。 (5)現場の生産計画・生産管理の具体的実施の理解。	講義、演習、企業訪問等により構成される (1)オリエンテーション (2)講義 (企業経営における生産性運動の実践、市場経済のメカニズム、生産 管理、原価管理、品質管理) (3)演習 (価値分析、品質管理の実践) (4)企業訪問(民営化、証券取引、生産管理、品質管理、研究開発の取り組み)	
4 (集団) 水道技術者養成Ⅱ	8	03年6月10日 / 03年8月30日	基本的な水道技術、水道施設の機能を理解し、研修員自 国の水道建設改良計画及び維持管理体制の強化に結び付 ける。	講義、実習等により構成される。 (1)講義： ・水道行政及び経営、水道計画、浄水処理、配水管理、 ・設計・施工管理、給水管理、水質管理、地下水学、水道事業の経営 (2)実習： ・浄水施設の施行管理、配水管実習、浄水場の運転、浄水場維持管理、 ・配水施設の維持管理、漏水防止、水質管理、水質試験、地下水探査 (3)見学： ・水源、浄水施設、配水施設、その他水道施設、 ・その他関連施設、他事業体水道施設	

		概要		要	
コース名	受入数	受入期間	目 標	コ ー ス	内 容
5 (集団) 母子保健人材育成	10	03年6月17日 03年7月25日	人口密度の低い地域での、母子保健及び医療システムについて理解を深め、教育機関や病院での看護師や助産師の育成方法を講義や視察を通じて学び、それぞれが自国の育成プランに反映させることを目的とする。		本コースは、講義、視察により構成される。主な項目は下記の通りである。 (1)日本の医療行政 (2)日本の母子保健制度 (3)北海道における医療制度 (4)看護師及び助産師のプレナーヒストレニーニングの制度と現状 (5)看護師及び助産師のインサーヒストレニーニングの制度と現状 (6)地域医療体制
6 (集団) 農民参加による農業農村開発Ⅱ	9	03年7月1日 03年8月10日	地方の農民参加による地域条件に適した「村づくり」の観点から、農村の活性化とその健全な発展に資するための総合的な改良手法とともに、地域の実状に合致した持続的な農村整備計画の策定と農民の開発計画への参画手法など、その推進に必要な知識・技術の習得を目標とする。		講義：農民組織、農民組織、農協、農業基盤整備、農地保全、土地改良区、水管理、農産物流通、農業金融、生活改善事業、PCM手法等 視察：中央卸売市場、農業改良普及センター、農業機械工場、北海道花・野菜技術センター等
7 (集団) 道路技術	6	03年7月8日 03年9月4日	理論と実践の両面から道路建設技術の知識を習得させ、実務に通じる道路技術者を養成する。具体的には以下の理解を目標とする。 (1)道路関連法規、予算/財政 (2)道路計画の実際 (3)道路設計・施工		講義、実習等により構成される 講義：(1)道路概論 (2)道路の調査・計画 (3)道路の設計・施工 実習：道路施工、道路維持修繕等 見学：交通管制センター、道路管制センター、アスファルトプラント等
8 (集団) 農畜水産食品の安全管理 (サブサハラアフリカ諸国)	6	03年8月5日 03年9月28日	(1)食品安全管理に関する基礎的な知識を習得する。 (2)食品安全管理に関する我が国の先進的な技術を学ぶ。 (3)HACCP(総合衛生管理製造過程)について理解する。 (4)研修員それぞれの国に有効な食品安全管理技術について立案できること。		講義：食品衛生概論(感染症、食中毒対策等)、食品加工概論(食肉加工、水産加工、HACCP等)、食品流通概論(流通システム等) 実習：食肉/生乳/水産物加工、細菌の検出実習、HACCP導入演習 視察：見学：酪農家、食肉加工場、卸売市場、大型量販店等
9 (個別研修) 中米生活廃棄物処理	10	03年8月12日 03年9月28日	日本における廃棄物処理技術、廃棄物処理の社会的側面、及び廃棄物の再利用・リサイクルについて、日本の自治体の役割や方法論を示す講義や視察を通じて、中米各国の実情に見合う廃棄物処理計画・運営能力を習得する。		(1)法制度と処理処分の現状 (2)地方行政の仕組みとゴミ処理行政 (3)ゴミ処理技術概論 (4)札幌市のゴミ処理収集と分別の意義 (5)市民協力の取り組み (6)道路清掃、収集作業、収集車両の管理現場の視察 (7)資源化技術と中間処理 (8)焼却処理施設、資源化施設、一般廃棄物の最終処分場、コンポスト化施設視察 (9)札幌市における生活排水対策 (10)生活排水処理技術の概要 (11)浄化槽視察、し尿処理施設視察 (12)最終処分場の構造・維持管理と跡地利用(視察含む) (13)医療廃棄物処理(視察含む) (14)途上国における道路清掃、収集運搬概論 (15)アクションプラン作成
10 (集団) 下水道維持管理Ⅱ	7	03年8月12日 03年10月12日	(1)下水道及び下水処理に関する基礎的な知識を修得する。 (2)管渠・ポンプ場・下水処理施設の維持管理に必要な知識を修得する。 (3)資源の有効利用の現況を理解する。 (4)工場排水の処理及び除害施設について必要な知識を修得する。		基本的に「標準活性汚泥法」を中心とした実習・演習等により構成される。研修コースは以下の通り。 (1)下水道の基礎概念 (4)資源の利用 (2)管渠の維持管理 (5)工場排水の規制 (3)処理場の維持管理 (6)下水道の財政

コ		ス		概		要	
コース名	受入数	受入期間	目 標	内 容	要 要	要 要	要 要
11 (国別研修) ナイジェリアHIV感染 子防対策	5	03年8月26日 03年9月20日	日本及び北海道における (1)国家及び地域社会におけるHIV感染リスクを特定し、 コントロールする方策を理解する。 (2)公衆衛生のニーズや保険サービスの内容及び効果を理 解する。 (3)自国における適切な保健医療対策の立案能力の向上を 図る。	講義、視察、ディスカッション等で構成される。 - 公衆衛生学 - HIV感染対策に係わる公的機関・体制 - 人材育成 - 市民活動 (NGO/NPO) - 北海道立衛生研究所、赤十字センター、血液センター - 講師等関係者及び研修員との意見交換を行い、内容理解、自国適用性につ いて考察を深める			
12 (国別研修) エジプト看護教育手法	5	03年8月26日 03年11月16日	腎透析患者の看護展開に必要な知識・技術・態度の習 得、並びに教育課程に基づく腎透析看護の教育プログラ ムの作成と臨床指導展開の習得を通して、腎透析看護指 導者の育成を目的とする。	(1)自国と日本の保健医療福祉制度を比較・分析し、自国の課題を説明できる。 (2)腎透析医療の現況を日本と比較して説明できる。 (3)腎透析患者の介護に必要な知識・技術について理解する。 (4)教育の基本と教育課程について説明できる。 (5)教育課程の知識を適応して腎透析看護研修プログラム案を作成できる (6)帰国後の活動内容について具体的に述べることができる。			
13 (国別研修) 中央アジア母子保健行政	11	03年9月9日 03年10月4日	(1)日本の母子保健制度とこの分野の提供されるサービ ス を理解する。 (2)保健・医療分野の行政の役割・機能を理解する。 (3)日本の経験・実践の自国での導入可能性を検討する。	講義、視察、討論から構成されている。 (1)講義：母子保健行政に関して、研修員が我が国の基本的理念を歴史や制度 を通して把握し、母子保健に関連する保健師や助産師の育成やマスタクリー ニング体制の理解により、母子保健行政について多角的に把握する。 ・日本の医療行政・北海道の母子保健・保健指導・日本の保健師・医療制 度の変遷・マスタクリーニングの母子保健・産科医師、助産師、保健師の人材育成 (2)見学：保健センターや医療機関など、母子保健を支える機関を広く見学す ることにより、総合的に母子保健の体制及び行政の役割を研修員が自国との 対比の中で理解する。 (3)討論：国別発表会による各国の母子保健行政の現状をふまえた上で、日本 との比較を行い自国での適応可能性について討論を行う。			
14 (集団) 地域土木行政セミナーII	5	03年9月9日 03年10月25日	(1)公共土木事業に係わる法制度、予算、執行体制等、日 本の公共事業制度の全般的な知識の習得。 (2)国と地方の役割分担、北海道開発の経緯等に係る知識の習得。 (3)公共土木事業と環境保全の調和に関する知識の習得。	講義：公共土木事業に係わる法律制度・予算制度・執行体制、国と地方の役 割分担、各種土木施設の計画・工事施工技術等 現地視察：各種土木施設（港湾、砂防、道路等）及び土木工事現場の視察			
15 (集団) 地域開発計画管理II	6	03年9月9日 03年11月1日	(1)中央政府による北海道総合開発について理解する。 ・目的と組織体制 ・北海道総合開発計画の推進、評価・管理手法 (2)地域開発における地方自治の役割、地域開発施策につ いて理解する。 (3)地域開発推進に際し、住民参加の重要性及び環境への 配慮について理解する。 (4)北海道総合開発手法の自国へ適応性を探る。	講義及び視察・見学により構成される。また、視察・見学のうちフィールド トリップにおいては、講義に対する理解をより深めるため、道外及び道内の 開発事業や民間企業を視察・見学する。 講義：北海道総合開発体制、開発計画、道路、港湾、農業基盤施設等 視察：関連機関（農協、開発局関係施設等）			

コース名		受入数	受入期間	目 標	コ ー ス 概 要	内 容
16	(集団) 地域環境保全技術	5	03年9月9日 03年11月23日	環境保全対策に関する諸制度や実際の施策について理解するとともに、測定分析に必要な技術の修得と環境保全の総合的管理能力を養う。	講義、技術研修、視察研修により構成され、理論と実際を組み合わせ実施する。 (1)講義：環境法諸制度、環境アセスメント、公害防止計画、環境管理計画等各種計画、地球環境問題に対する地域としての取組み (2)技術研修：汚染物質の測定分析技術、環境モニタリング、環境汚染負荷の低減策	講義、技術研修、視察研修により構成され、理論と実際を組み合わせ実施する。 (1)講義：環境法諸制度、環境アセスメント、公害防止計画、環境管理計画等各種計画、地球環境問題に対する地域としての取組み (2)技術研修：汚染物質の測定分析技術、環境モニタリング、環境汚染負荷の低減策
17	(集団) 産業動物の獣医技術	6	03年9月9日 04年12月14日	次の知識、技術を習得することを目標とする。 (1)産業動物の多発疾病の診断治療等臨床技術 (2)集団予防衛生対策の技術及び伝染病防疫対策手法 (3)食肉検査等食品衛生及び衛生指導監視視察体制手法 (4)獣医行政、動物診療体制及び行政機関、大学、研究機関、診療機関、農業団体等の組織体制構築の手法	講義、実技自習及び研修見学により構成され、理論と実践の両面から効果的な技術移転を図る。 (1)家畜飼養管理 (2)動物の内科の診断と治療 (3)動物の外科の診断と治療 (4)動物の繁殖科の診断と治療 (5)乳房炎防除対策 (6)臨床病理検査及び予防衛生 (7)食品衛生と環境衛生 (8)動物の保護及管理及び狂犬病予防	講義、実技自習及び研修見学により構成され、理論と実践の両面から効果的な技術移転を図る。 (1)家畜飼養管理 (2)動物の内科の診断と治療 (3)動物の外科の診断と治療 (4)動物の繁殖科の診断と治療 (5)乳房炎防除対策 (6)臨床病理検査及び予防衛生 (7)食品衛生と環境衛生 (8)動物の保護及管理及び狂犬病予防
18	(国別研修) 南西アジアIT人材育成	5	03年9月30日 03年11月2日	(1)札幌市の事例を参考に、IT人材育成における日本の政策及び活動を理解する。 (2)IT人材育成に関する知識を習得し、実施する上で必要となる方策・制限・障害を考慮し、その適用性を考える。 (3)特に人材育成について、行政・教育機関・会社を通じて、日本のIT活動を理解する。 (4)コース終了時に、ファイナルレポートを作成する。	(1)IT関連知識、日本の政策・戦略 (2)民間企業の活動及び人材育成 (3)高等教育機関における人材育成、初等教育における情報教育 (4)IT推進のための諸条件（インフラ等）	(1)IT関連知識、日本の政策・戦略 (2)民間企業の活動及び人材育成 (3)高等教育機関における人材育成、初等教育における情報教育 (4)IT推進のための諸条件（インフラ等）
19	(国別研修) 東欧廃棄物処理行政	7	03年9月30日 03年11月9日	日本における廃棄物処理技術、廃棄物処理の社会的側面、及び廃棄物の再利用・リサイクルについて、日本自治体の役割や方法論を示す講義や視察を通じて、東欧諸国の実情に見合う廃棄物処理計画・運営能力を習得する。	日本の廃棄物処理行政について概説し、対策手法その他を理解する。また、廃棄物処理工程の要素技術を学び、適性技術の選択能力を身につける。	日本の廃棄物処理行政について概説し、対策手法その他を理解する。また、廃棄物処理工程の要素技術を学び、適性技術の選択能力を身につける。
20	(国別研修) ロシア地方行政開発計画	10	03年10月1日 03年11月8日	(1)地域開発における自治体行政の役割及び市民参加型社会が目指す内容について理解する。 (2)地域振興に必要な組織運営、行政支援、税制などについて理解する。 (3)地域特性を踏まえた産業振興、環境保全について理解する。 (4)北海道総合開発手法の意義を理解する。 (5)上記習得事項を踏まえ、自国における短期及び長期的な開発計画を策定する。	(1)講義：自治体行政、農業による地域活性化、大学・地域との連携、地域産業支援、北海道開発の経緯等 (2)レポート発表・討議：カントリレポート発表、意見交換会等 (3)視察：農業振興、地域の特色を生かした産業振興、道・川・山の駅等の地域振興、地方行政開発事例・施設の視察 (4)地域住民との交流：地域住民、小・中学校等との交流	(1)講義：自治体行政、農業による地域活性化、大学・地域との連携、地域産業支援、北海道開発の経緯等 (2)レポート発表・討議：カントリレポート発表、意見交換会等 (3)視察：農業振興、地域の特色を生かした産業振興、道・川・山の駅等の地域振興、地方行政開発事例・施設の視察 (4)地域住民との交流：地域住民、小・中学校等との交流

		コ			ス		要		
		目		標		内		容	
コース名	受入数	受入期間	目標		概要		要		
21 (国別研修) 東欧環境行政	8	03年10月7日 ～ 03年11月14日	(1)環境保全行政に関する基礎知識を習得する。 (2)汚染防止に関する必要知識を習得する (3)汚染防止の現在の方法を理解する (4)政府と地方自治体の役割と働きについて理解する		講義、実習等により構成される (1)日本の環境行政 (2)地方自治体の環境保全行政、札幌市の概要、水質汚濁対策、大気汚染対策、交通公害対策、騒音・振動対策、土壌汚染対策、環境教育・広報活動、環境アセスメント、環境汚染調査・モニタリング、水道行政、廃棄物行政 (3)札幌市の環境整備行政、下水道行政、水道行政、廃棄物行政 (4)環境保護 (5)企業における公害対策、公害防止施設見学				
22 (国別研修) 東アジア寒冷地水道技術者養成	6	03年10月14日 ～ 03年12月11日	(1)寒冷地における浄水場及び浄水処理について理解し、自国における改善方を検討、作成する。 (2)給水システムについて理解し、自国における改善方を検討、作成する。 (3)漏水防止について理解し、自国における改善方を検討、作成する。 (4)水質管理について理解し、自国における改善方を検討、作成する。		講義、特別講義、演習実習、見学、ディスカッション等により構成され、理論と実践の両面からアプローチし、効果的な技術移転を図る				
23 (集団) 新生児マス・スクリーニング (クレチン症、フェニルケトン尿症)	8	03年10月28日 ～ 03年12月21日	(1)新生児スクリーニングシステムの構築方法を理解する。 (2)新生児スクリーニングに関連する知識と技術の原理を理解する。 (3)新生児スクリーニングに必要な技術を修得する。		講義、実習等により構成される。 (1)新生児スクリーニング概論 (講義) (2)フェニルケトン尿症及びクレチン症のスクリーニング法、診断、治療、予後 (講義) (3)フェニルケトン尿症のスクリーニング (実習) (4)クレチン症のスクリーニング (実習) (5)その他のスクリーニング (講義、実習) (6)研修旅行				
24 (国別研修) 中央アジア経営管理	7	03年11月5日 ～ 03年12月11日	(1)生産管理、日本式品質管理、ビジネスマネージメントについて理解する。 (2)企業経営成功のための戦略、5Sの技法、経営分析技法を習得する。 (3)5S改善活動、生産性向上、人材育成の理解と技法を習得する。 (4)日本経済の発展過程と政策の役割、労使関係等日本の経営について理解する。		(1)講義・討論：企業経営における生産性運動の実践、市場経済下の経営戦略と経営財務、市場経済のメカニズムと(輸出) マネーテイニング、生産管理、品質管理、民営化、総括討論 (2)以下のテーマに関連した行政機関・企業の訪問：中小企業振興策、生産管理、産業振興策、産業技術振興策、生産・品質管理、中小企業経営、地域振興、マネーテイニング				

		コース概要		概要	
コース名	受入数	受入期間	目標	内容	容
25 (集団) エレクトロニクス技術 (コンピュータ・イン ターフェイス)	9	03年11月11日 、 04年2月17日	次の主要技術の修得を目標とする。 (1)CPUの内部のアーキテクチャの学習によるアセンブ ラ言語の基本文法の習得。アセンブラ言語でメカトロ制 御プログラムを作成/デバッグし、制御プログラミン グの作成ができるようになる。 (2)C言語の基本文法を修得し、画面制御プログラムを作 成/デバッグ出来るようになる。 (3)HTML言語の基本文法を修得し、World Wide Webサー バーを作成/デバッグし、「JICA研修アルバム」として 公開できるようにする。	講義、演習、実験、研修旅行等により構成される。 札幌市エレクトロニクスセンターを主たる実施場所として、施設内設置の各 種機材を活用しながら研修を行う。また、個々の研修員にコンピュータを 貸出し、研修効率の向上を図ることとする。 研修項目は以下の通り。 (1)パソコン/ネットワーク基礎 (2)H8アセンブラ (3)インターフェース回路 (4)ロボット・カー制御 (5)マイコン・カー・ラリー北海道大会 (6)C言語プログラミン (7)HTMLプログラミン (8)研究トピックス (9)見学旅行(道内・道外)	
26 (個別研修) パキスタン民主化支援	6	03年12月2日 、 03年12月26日	(1)日本の実体に即して、国民全体に共通した基盤として の国家行政の中において、住民に最も身近な行政がどの ようなシステムの上に成立し、運営されているかを理解 する。 ・地方制度 ・地方公務員制度 ・地方税財政制度 (2)地方自治体における政策形成の実務について、札幌市 における事例を理解する。 ・「長期計画策定」・「広聴(広報)活動」 ・「保健衛生」「清掃」「下水処理」 (3)札幌市における上記に関する行政施設を視察・見聞し ながら、地方自治のシステムについての視野を広げる。	主に講義、視察により構成される。 地方自治制度、地方財政制度、地方公務員制度、札幌市制概要等	
27 (個別研修) パレスチナ地方自治体 行政	12	04年1月6日 、 04年2月15日	(1)日本の実体に即して、国民全体に共通した基盤として の国家行政の中において、住民に最も身近な行政がどの ようなシステムの上に成立し、運営されているかを理解 する。 ・地方制度 ・地方公務員制度 ・地方税財政制度 (2)地方自治体における政策形成の実務について、札幌市 における事例を理解する。 ・「長期計画策定」・「広聴(広報)活動」 ・「保健衛生」「清掃」「下水処理」 (3)札幌市における上記に関する行政施設を視察・見聞し ながら、地方自治のシステムについての視野を広げる。	主に講義、視察により構成される。 地方自治制度、地方財政制度、地方公務員制度、札幌市制概要等	

		コース名		受入数	受入期間	目標	概要	内容
28	(国別研修) 東政生産管理	10	04年1月6日 ～ 04年2月15日		(1)日本の実践的な生産計画・管理にそった基礎知識と応用の習得。 (2)生産計画・生産管理分野の基礎的・先進テクニクと、最近の動向と展開について理解する。 (3)生産計画・生産管理についての生産性向上のための関連手法の理解。 (4)顧客主導型の企業経営理論と生産計画・生産管理間の関係の把握。 (5)現場の生産計画・生産管理の具体的実施の理解。	講義、演習、企業訪問等により構成される。 (1)オリエンテーション (2)講義(企業経営における生産性運動の実践、市場経済のメカニズム、生産管理、原価管理、品質管理) (3)演習(価値分析、品質管理の実践) (4)企業訪問(民営化、証券取引、生産管理、品質管理、研究開発の取り組み)		
29	(集団) 地方教育行政セミナーII (サブ・サハラアフリカ諸国)	16	04年1月20日 ～ 04年2月22日		(1)札幌における事例の紹介を通じて日本における義務教育手法を理解する (2)札幌での教育組織編成や教員養成の手法を学び、以て自国の教育制度改善に資する	講義と視察を効果的に組み合わせる以下の各カリキュラムを中心に“理論と実際”の両面から実施する。 (1)札幌市の教育行政 (2)義務教育の実際(日本における初等教育と中等教育) (3)札幌における学校教育と社会教育等		
30	(国別研修) 中央アジア地域開発計画 セミナー	11	04年1月20日 ～ 04年2月27日		(1)中央政府による北海道総合開発について理解する。 ・目的と組織体制 ・北海道総合開発計画の推進、評価・管理手法 (2)地域開発における地方政府の役割、地域開発施策について理解する。 (3)地域開発推進に際し、住民参加の重要性及び環境への配慮について理解する。 (4)北海道総合開発手法の自国へ適応性を探る。	講義及び視察・見学の組み合わせによる以下の研修項目から構成される (1)北海道総合開発の体制 (6)開発事業 (2)開発計画概論 (7)産業政策 (3)地方経済構造の分析 (8)事例研究 (4)札幌のまちづくり (9)カントリーレポート発表 (5)地域開発金融 (10)スタディレポート発表		
31	(集団) 食品保健行政 (アフリカ諸国)	10	04年1月20日 ～ 04年3月7日		(1)食品保健に関する基礎的な知識を習得すること。 (2)生産から消費までの食品衛生対策の必要知識を習得すること。 (3)監視、検査体制について理解すること。	講義：食品衛生概論、食品科学概論、食品製造概論等 実習：食品監視指導実習、細菌・理化学検査実習、食中毒調査実習、食品衛生OA実習 視察・見学：食品製造工場、大規模食品販売施設、関連研究施設、検査所等		
32	(集団) エギノコックス症対策	5	04年1月20日 ～ 04年3月21日		(1)E症およびエギノコックスについて知識を深める。 (2)血清診断、免疫学的診断の診断技術を習得する。 (3)確認試験(ELISA、PCR法、WB法)の検査技術を習得する。 (4)自国にE症対策を実施していく上で、求められる技術を得る。	E症とその感染予防対策に係る講義、スクリーニング試験と確認試験に関する実習、野外における特別実習、地域における保健所・食肉検査事務所が保われる公衆衛生生についての特別実習などから構成される。(1)講義：北海道におけるE症対策、エギノコックスの生物学、エギノコックスの生態学、E症の免疫血清学的診断、E症の臨床病理、E症の臨床としてのウエスタン・ブロッグ試験としての酵素抗体法(ELISA)、確認試験としてのポメラリーニゼ連鎖反応法(PCR)、エギノコックス症の免疫学的診断、マススクリーニングと臨床検査システム、公衆衛生学 (3)特別実習：E症対策I；定点における疫学調査(旭川保健所) E症対策II；1.環境衛生面における野外実習(根室保健所)、2.食品衛生面における実習(帯広保健所、帯広食肉検査所)		

		ス		要		概		内		容	
		目		標		コ		ー		ス	
		コース名		受入期間		受入数		要		概	
33	(国別研修) パネエラ女性零細ビジネス振興セミナー	04年2月11日 04年3月14日	4	(1)財務・会計知識を習得する。 (2)融資申請された段階で、有望な事業計画かどうか判断できるようにする。 (3)効率的な指導体制をつくる。	(1)講義・討論：企業経営における生産性運動の実践、市場経済下の経営戦略と経営財務、市場経済のメカニズムと(輸出) マケターティング、生産管理、品質管理、民営化、総括討論						
34	(国別研修) 中央アジア環境行政	04年2月18日 04年3月19日	8	(1)環境保全行政に関する基礎知識を習得する (2)汚染防止に関する必要知識を習得する (3)汚染防止の現在の方法を理解する (4)政府と地方自治体の役割と働きについて理解する	講義、実習等により構成される。 (1)日本の環境行政等 (2)札幌市総論 (3)地方自治体の環境保全行政 (4)札幌市の環境整備行政						
35	(国別研修) 中国西部地区行政実務者研修	04年3月2日 04年3月27日	15	(1)中央政府による北海道総合開発について理解する。 ・目的と組織体制 ・北海道総合開発計画の推進、評価・管理方策 (2)様々な地域開発の取組みについて理解する。 (産業振興、生活環境整備、自然環境保全、公共基盤整備等) (3)地域開発における中央政府と地方政府の役割について理解する。 (4)北海道総合開発評価の自国への適用性を考察する。	中国において西部開発に携わる行政官を対象に、中央政府の主導により国に特定地域を重点的・総合的に開発してきた北海道開発を素材として、国が策定する総合的な開発計画に基づいて総合的・効率的に地域開発を推進・管理する手法・ノウハウ等に移転する。						

6. 留学生セミナー

「留学生セミナー」とは、JICA関係の奨学制度（長期研修、日系留学生奨学金助成事業※、留学生支援無償、国費留学生JICA推薦）により全国各地の大学で学ぶ留学生のうちの希望者を対象として、年2回大学の授業が休みになる時期に実施する、短期のグループ研修です。平成15年度、当センターでは、下表のとおり2件の留学生セミナーを実施しました。実施にあたっては、地元札幌を含む道内各地の自治体や交流団体などの協力をいただきました。

（※日系留学生奨学金助成事業は平成16年度より日系社会リーダー育成事業に改称。）

セミナー名	受入期間	受入日数	人数	委 託 先	参加者内訳
地域振興	2003. 8.19 ～8.26	8	20	なし	長期研修員 9名 無償留学生 11名
児童福祉	2004. 2.25 ～3. 2	7	10	(財)札幌国際プラザ	長期研修員 4名 無償留学生 6名

Ⅲ. 青年招へい事業

21世紀の日本は、従来のように欧米に偏った姿勢ではなく、アジアの国々に目を向けて、特に日本を担う若者がアセアンの若者と交流を深めて、それぞれの国を理解しなければ、日本の国は成り立たない、との考えに基づき昭和59年（1984）から最初はアセアン5カ国を対象に青年招へい事業は始まりました。

その後、対象は大洋州、アフリカ地域等、他の国々にも拡大されこれまでに26,550人がわが国に招へいされました。

JICA札幌は平成8年度の設立以降、1,300人を招へいし、それぞれの専門分野について学ぶとともに、ホームステイ等道内の人々との交流を通じて相互理解を深めています。

平成15年度受入実績（JICA札幌所管分）

招へい国名	分野	地方実施協力団体	分野別地方プログラム期間	人数
マレーシア	農業	旭川市国際交流委員会	03. 7. 8～03. 7.15	19
タイ	中小企業振興	とまこまい国際交流センター	03. 8. 5～03. 8.12	22
アセアン混成	社会福祉(身体障害者)	(財)札幌国際プラザ	03.10. 6～03.10.21*	26
アセアン混成	科学技術IT	千歳国際交流協会	03.10.14～03.10.21	18
スリランカ	理数科教員	(社)滝川国際交流協会	04. 2. 3～04. 2. 9	15
中央アジア混成	地域振興	(財)北海道YMCA	04. 3.29～04. 4.13*	20

※分野別地方プログラムを地方一貫型として実施。

なお、平成15年度はJICAの青年招へい事業開始20周年にあたり、記念行事として「エッセイコンテスト」（エッセイ部門とフォト部門）が実施されました。そのうち、当センター管内から応募された作品が次のとおり優秀賞（全国2位）・入選に選ばれ、優秀賞の中島さんは賞としてベトナム視察に招待されました。

JICA本部での表彰式は2月27日に、当センターでの表彰式は3月4日に開催されました。

優秀賞	中島 保代さん(*)	エッセイ	：「異文化交流を楽しもう」
入選	出頭万志子さん(**)	エッセイ	：「出会いに感謝を」
	松原 鈴子さん(*)	エッセイ	：「世の中は狭い」
	植木あけみさん(*)	エッセイ	：「愛するリンダへの手紙—お幸せにね—」
	野田 豊子さん(*)	エッセイ	：「31カ国目のゲスト」
	石村 弘さん(***)	エッセイ	：「韓国の青年」
	氏家 満さん(**)	フォト	：「手と手」
	坂本 明美さん(****)	フォト	：「あっ！動いたんじゃない!？」
	千葉 伸子さん(***)	フォト	：「笑顔との出会い」

- * (財)札幌国際プラザボランティア
- ** とまこまい国際交流センター受入青年のホストファミリー
- *** 滝川国際交流協会受入青年のホストファミリー
- **** (財)北海道YMCA受入青年のホストファミリー

青年招へい受入人数累計

国名	年度	昭和59年	昭和60年	昭和61年	昭和62年	昭和63年	平成元年	平成2年	平成3年	平成4年	平成5年	平成6年	平成7年	小計	平成8年	平成9年	平成10年	平成11年	平成12年	平成13年	平成14年	平成15年	合計
インドネシア				23			15							38	25	25			24				74
インド						30								30				30					30
韓国							20	17		23		25		85	24	24	50	25					99
カンボジア														0				30	15				45
サウジアラビア														0							17		17
シンガポール					23	22		15	20					80			18						18
スリランカ													10	10									15
フィリピン				20										20	25			20					45
ヴェトナム													25	25	25								25
タイ			30			23					25			78	22				46	23		23	114
中国												25		25		25	24						49
パキスタン										20				20						14			14
バプア・ニューギニア									10	10				20	10	19							29
バンダラディシュ														0	20								20
ビルマ						10								10									0
ブータン・モルディア											10			10									0
ブルネイ														0		15							15
マレーシア										20	25			65		25	25				21	21	92
ミャンマー														0	20								20
アセアン混成							30					30	48	108	30	48	57	48	56	27	27	44	337
中央アジア混成														0			25	25	25	26	48	25	174
太平洋混成											12			12						19			19
アフリカ英語圏														0				23					23
アフリカ混成仏語圏														0							26		26
アフリカ												14		14									0
合計		20	30	43	33	45	65	32	60	73	72	94	83	650	177	181	199	201	166	109	139	128	1,300

(注) 平成7年以前は北海道支部時代の統計(全道分)、平成8年度以降はJICA札幌所管分(JICA帯広分は含まれていません)

IV. 専門家派遣事業

JICAでは、途上国への技術協力の一環として国内の様々な業種の専門家をアジア、中近東、アフリカ、中南米等の途上国へ派遣しています。

この事業は、昭和30年（1955）にインドなど5カ国に28名の専門家を派遣して以来、これまで110カ国に71,339人を派遣しています。

北海道からも多くの専門家が派遣されており、途上国への技術移転に寄与しています。本邦へ帰国した専門家は各地で連絡会を設立しており、帰国専門家としての情報発信、派遣予定の専門家への情報提供、地域への国際協力事業の浸透等に一役買っています。

北海道においても「北海道JICA帰国専門家連絡会」が平成4年に設立され、平成15年度末現在で138名の会員を擁しています。

1) 平成15年度北海道JICA帰国専門家連絡会活動実績

活 動 内 容
1. 会報「想遠」第7号の発行
2. 道東地区会員との連絡協議会 積極的に連絡会活動に取り組む会員が増え、14年度より道東地方初の専門家セミナーおよび研修員との交流会を行うこととなった。
3. 北海道国際協力フェスタ2003への参加 多数のNGOと市民が参加するイベントにおいて、専門家の現地における活動を紹介し、連絡会の広報に努めた。
4. 開発教育指導者研修への参加 JICAが主催する小中高校の教師を対象とする研修会に参加した。
5. 研修員との交流会（イヤーエンドパーティー）の実施 センター内で年越しする研修員を対象として、文化交流も含めパーティーを実施した。
6. 2003年度総会 2003年度の事業・収支報告および2004年度の事業計画の承認

V. 草の根技術協力事業

1. 地域提案型

対象国	案件名	実施団体	研修員受入実績			専門家派遣実績		
			人数	受入期間	所属先・職位	人数	派遣期間	氏名(敬称略)・所属先
インドネシア	農民参加型用水管理システム	旭鷹土地改良区	3名	03. 6. 10 / 03. 8. 13	・南スラウェシ州水資源管理局技術指導技師 ・マルク州灌漑プロジェクト管理官 ・居住地域インフラ省水資源総局中央州水資源局職員			
マラウイ	畑作技術及び農民組織	滝川国際交流協会	2名	03. 6. 13 / 03. 10. 30	・農業技術普及員 ・農業技術普及員			
ハンガリー	バイオブリケット技術を用いた代替燃料	北海道立工業試験場	4名	03. 8. 12 / 03. 9. 26 04. 2. 24 / 04. 3. 24	・大学教授 ・大学院在籍 ・研究員 ・大学院在籍	2名	04. 1. 10 / 04. 2. 3	・上出 光志 (北海道立工業試験場技術支援センター研究支援第2課長) ・北口 敏弘 (北海道立工業試験場環境エネルギー部環境システム課)
中国	消防行政	札幌市消防局	2名	03. 11. 11 / 03. 12. 8	・瀋陽市消防局助理工程師 ・瀋陽市消防局係長			
中国	建設技術	札幌市建設局	1名	04. 3. 7 / 04. 3. 21	・瀋陽市都市建設管理局 ・副総工務師			

2. パートナー型

実績なし

3. 草の根支援型

実績なし

4. 調査団派遣

実績なし

Ⅵ. 地方自治体等連携促進事業

地域との連携を重視し、地方自治体等の国際協力・交流事業の担当職員及び研修員への指導等技術協力活動に携わっている職員を対象とした「地方自治体職員等国際協力実務者研修」の募集を実施しています。また、地方自治体等に対するJICA事業の説明など様々なプログラムの開催を通じて、地方自治体との連携事業を推進しています。

1. 地方自治体職員等国際協力実務者研修（東京／大阪実施分）

(1) 第1回

1) 受講者氏名（所属先）

塩入 正行（滝川市総務部秘書課）

2) 受講期間

平成15年6月16日(月)から平成15年7月11日(金)

(2) 第2回

1) 受講者氏名（所属先）

渡辺 育子（社団法人 滝川国際交流協会）

2) 受講期間

平成15年8月28日(木)から平成15年9月3日(水)

(3) 第3回

1) 受講者氏名（所属先）

※北口 順一（札幌市下水道局施設部）

熊谷 史子（旭川市国際交流委員会）

木村 亜希子（財団法人 札幌国際プラザ）

2) 受講期間

※平成15年11月4日(火)から平成15年11月28日(金)

平成15年11月25日(火)から平成15年11月28日(金)

(4) 第4回

1) 受講者氏名（所属先）

※三國 直樹（札幌市下水道局施設部）

中川 雅博（岩見沢市総務部市長室）

松居 慶子（社団法人 北方圏センター）

2) 受講期間

※平成16年1月19日(月)から平成16年2月13日(金)

平成16年1月19日(月)から平成16年1月23日(金)

2. 地方自治体職員等実務者研修（札幌実施分）

実績なし

Ⅶ. ボランティア事業

1. 青年海外協力隊

青年海外協力隊事業は日本の青年（20歳から39歳まで）が自分の技術・知識・経験を活かしながら、現地の人々と同じ言葉を話し、共に生活しながら、相手国の国づくりを支援するボランティア事業です。昭和40年の発足以来、79か国の開発途上国へ、23,478名の青年を隊員として派遣してきました。現在も約2,150名の隊員が世界69か国で活躍しています。

ア) 北海道全体概況

(1) 北海道出身隊員概況（平成16年2月29日現在）

- ① 派遣中の隊員数 106名（うち女性 61名）
派遣国 48ヶ国

② 派遣隊員累計数 1,203名（うち女性 471名）

	派遣中	14年度派遣	15年度派遣	累計
アジア	34名	15名	16名	381名
アフリカ	30名	22名	16名	366名
中近東	8名	4名	1名	79名
大洋州	8名	3名	7名	107名
中南米	21名	10名	13名	245名
ヨーロッパ	5名	2名	2名	25名
計	106名	56名	55名	1,203名

（一般隊員の他、シニア隊員、調整員などは含まない）

(2) 募集活動経緯

	春	秋	計
説明会開催数*1	21回	24回	45回
説明会参集者数*1	536名	640名	1,176名
願書提出者数	187名	262名	449名
一次選考受験者数	130名	198名	328名
一次選考合格者数	51名	92名	143名
二次選考受験者数	49名	92名	141名
二次選考合格者数	21名	51名	72名

（*1には特別説明会を含む）

(3) 協力隊関連行事（平成15年度）

① 青年海外協力隊北海道OB会総会：平成16年3月27日(土) 13:30～

〈於：北海道国際センター（札幌）〉

② 派遣隊員壮行会

・一次隊 22名 平成15年7月10日(木)

・二次隊 18名 平成15年11月28日(金)

・三次隊 15名 平成16年3月30日(火)

（「北海道青年海外協力隊を育てる会」との共催）

イ) JICA札幌管内概況

(1) 平成15年度派遣隊員

隊次	氏名	派遣国	職種
1次隊	勝山千勢	ボリビア	助産師
1次隊	保谷和望	ボリビア	看護師
1次隊	池見真由	セネガル	村落開発普及員
1次隊	小熊真理	ニジェール	栄養士
1次隊	上山敦司	モルディブ	バドミントン
1次隊	槻田優美子	ニジェール	小学校教諭
1次隊	樫田真	ベトナム	村落開発普及員
1次隊	東川大介	エルサルバドル	感染症対策
1次隊	齋藤洋恵	コスタリカ	小学校教諭
1次隊	岩崎弘之	南アフリカ共和国	理数科教師
1次隊	辰田准子	ニカラグア	看護師
1次隊	氏家真梨	ボツワナ	栄養士
1次隊	高宮豊	モロッコ	測量
1次隊	澤田康介	ルーマニア	野菜
1次隊	木村直人	パプアニューギニア	理数科教師
1次隊	中野敏幸	モンゴル	建築設備
1次隊	剣持美希	マレーシア	作業療法士
1次隊	高橋久美子	モンゴル	小学校教諭
1次隊	二上信勝	フィリピン	家畜飼育
1次隊	都築美和	カンボジア	小学校教諭
1次隊	富山麻琴	フィジー	養護
1次隊	吉岡弥生	エルサルバドル	植林
2次隊	伊賀進介	モルディブ	バスケットボール
2次隊	平田恵子	スリランカ	コンピューター技術
2次隊	古郡恵	パキスタン	作業療法士
2次隊	遠田泰久	タイ	家畜飼育
2次隊	藤井悠詞	タンザニア	空手道
2次隊	堀口みゆき	モンゴル	看護師

隊次	氏名	派遣国	職種
2次隊	三浦 諭美	タンザニア	理数科教師
2次隊	大橋 公孝	パプアニューギニア	体育
2次隊	益子 佳奈実	ケニア	理数科教師
2次隊	高橋 伸幸	パナマ	野菜
2次隊	堀田 ともみ	メキシコ	看護師
2次隊	藤谷 祐美子	ドミニカ共和国	家政
2次隊	坂田 一幸	ボツワナ	体育
2次隊	藤巻 毅	ボツワナ	電気機器
2次隊	中出 記久美	パキスタン	美容師
2次隊	大原 美穂	パキスタン	美容師
2次隊	佐藤 さおり	メキシコ	村落開発普及員
2次隊	片山 一之	パプアニューギニア	理数科教師
3次隊	佐々木 暁子	モザンビーク	農業土木
3次隊	桑山 昌子	バヌアツ	看護師
3次隊	長井 美帆子	ニジェール	村落開発普及員
3次隊	三上 園恵	ケニア	バレーボール
3次隊	林 大樹	ホンジュラス	小学校教諭
3次隊	石井 亮平	タンザニア	土木施工
3次隊	黒川 優	マラウイ	自動車整備
3次隊	大山 真美恵	チリ	看護師
3次隊	山下 佳子	ルーマニア	幼稚園教諭
3次隊	木戸 和美	ネパール	栄養士
3次隊	山崎 裕美	パラオ	野菜
3次隊	岡部 薫	ホンジュラス	看護師
3次隊	橋本 亜希子	モルディブ	体育
3次隊	田中 真澄	ベトナム	村落開発普及員
3次隊	武井 智美	ケニア	感染症対策

(2) 選考試験

- ・春募集一次選考試験 語学試験、技術試験 6月8日(土) 会場：JICA札幌
二次選考試験 (東京で実施) 個人面接、技術面接
- ・秋募集一次選考試験 語学試験、技術試験 12月7日(土) 会場：ホテルライフオーブ札幌
二次選考試験 (東京で実施) 個人面接、技術面接

(3) 募集説明会実績

① 春募集説明会日程

開催地	月・日	会 場	住 所	参集者
札幌(1)	4月12日(土)	アスティ45ビル	札幌市中央区北4条西5丁目	79名
函館	4月13日(日)	函館産業会館	函館市若松町15-7-61	16名
室蘭	4月14日(月)	国際コミュニティセンター	室蘭市寿町1-10-11	6名
滝川	4月18日(金)	滝川市総合福祉センター	滝川市明神町1-5-29	5名
札幌(2)	4月19日(土)	札幌第一ワシントンホテル	札幌市中央区北4条西4丁目	78名
旭川	4月19日(土)	旭川市民文化会館	旭川市7条通9丁目50	31名
稚内	4月20日(日)	稚内サンホテル	稚内市中央3丁目7-16	5名
札幌(3)	4月24日(木)	アスティ45ビル	札幌市中央区北4条西5丁目	46名
札幌(4)	5月10日(土)	アスティ45ビル	札幌市中央区北4条西5丁目	122名

② 春募集特別説明会

北海道大学水産学部 (函館)	4月25日(金)	〈参集者 17名〉
北海道教育大学旭川校 (旭川)	5月9日(金)	〈参集者 17名〉
酪農学園大学 (江別市)	5月14日(水)	〈参集者 34名〉

③ 秋募集説明会日程

開催地	月・日	会 場	住 所	参集者
札幌(1)	10月18日(土)	JICA札幌	札幌市白石区本通16丁目南4-25	55名
旭川	10月25日(土)	旭川パレスホテル	旭川市7条通6丁目	31名
札幌(2)	10月25日(土)	札幌第一ワシントンホテル	札幌市中央区北4条西4丁目	58名
札幌(3)	11月8日(土)	アスティ45ビル	札幌市中央区北4条西5丁目	59名
函館	11月8日(土)	函館ハーバービューホテル	函館市若松町14番10号	18名
札幌(4)	11月11日(火)	札幌第一ワシントンホテル	札幌市中央区北4条西4丁目	46名

④ 秋募集特別説明会

北海道大学水産学部（函館市）	10月3日(金)	〈参集者 9名〉
酪農学園大学（江別市）	10月8日(水)	〈参集者 28名〉
北海道教育大学旭川校（旭川市）	10月10日(金)	〈参集者 14名〉
札幌北星学園大学（札幌市）	10月15日(水)	〈参集者 13名〉
北海道大学（札幌市）	10月21日(火)	〈参集者 15名〉
稚内北星学園大学（稚内市）	10月21日(火)	〈参集者 11名〉
國學院短期大学（滝川市）	10月30日(木)	〈参集者 15名〉
室蘭工業大学（室蘭市）	11月7日(金)	〈参集者 0名〉

2. シニア海外ボランティア

シニア海外ボランティア事業は、国内で幅広い技術と豊かな経験を有する中高年（40歳から69歳まで）の方で、ボランティア精神に基づき途上国のために貢献したいという人々の強い希望と、近年増えつつある途上国からの技術援助の要請に応えることを目的に平成2年度に設立された事業です。平成15年度末までに、51カ国に1,703名（派遣中を含む）を派遣しました。

ア) 北海道全体概況

(1) 北海道からの派遣実績（平成16年3月31日現在）

派遣年度※	派遣人数
平成4年度	2名
平成5年度	1名
平成6年度	3名
平成7年度	2名
平成8年度	3名
平成9年度	2名
平成10年度	3名
平成11年度	5名
平成12年度	14名
平成13年度	14名
平成14年度	17名
平成15年度	17名
計	83名

※派遣年度は4月10日～翌年4月9日。
（離日日を基準とする。）

イ) JICA札幌管内概況

(1) 平成15年度派遣ボランティア

隊次	氏名	派遣国	職種
15-前期	川下 雅弘	バヌアツ	観光促進
15-前期	川畑 盛昭	ボリビア	道路建設機械整備
15-前期	佐々木 義昭	エチオピア	ホテル経営学
15-前期	工藤 亮	モンゴル	情報工学
15-前期	佐々木 義修	モンゴル	人的資源一般
15-前期	國政 平	ウズベキスタン	航空管制
15-前期	鈴木 稔	ラオス	上水道
15-前期	水口 美知子	スリランカ	地域開発計画
15-後期	中川 竹広	カンボジア	青少年活動
15-後期	土橋 桂子	ドミニカ共和国	農薬汚染
15-後期	小野 哲之	パナマ	畜産(牛肉質改善)
15-後期	伊藤 志保子	パラグアイ	臨床分析
15-後期	蝶野 トシエ	ウルグアイ	生け花
15-後期	浦辻 栄治	トルコ	博物館運営
15-後期	太田 利隆	ヨルダン	鉄筋コンクリート建造物の耐久性
15-後期	及川 勝	ウルグアイ	食用作物栽培
15-後期	門間 春博	チリ	漁業生産

(2) 選考

一次選考 書類審査(東京)

二次選考 面接、語学試験(東京)

(3) 募集説明会実績

① 春募集説明会日程

開催地	月・日	会場	住所	参集者
札幌(1)	4月12日(土)	アスティ45ビル	札幌市中央区北4条西5丁目	61名
函館	4月13日(日)	函館産業会館	函館市若松町15-7-61	15名
室蘭	4月14日(月)	国際コミュニティセンター	室蘭市寿町1-10-11	9名
滝川	4月18日(金)	滝川市総合福祉センター	滝川市明神町1-5-29	9名
札幌(2)	4月19日(土)	JICA札幌	札幌市白石区本通16丁目南4-25	46名
旭川	4月19日(土)	旭川市民文化会館	旭川市7条9丁目50	24名

開催地	月・日	会 場	住 所	参集者
稚内	4月20日(日)	稚内サンホテル	稚内市中央3丁目7-16	0名
札幌(3)	5月7日(水)	JICA札幌	札幌市白石区本通16丁目南4-25	27名

② 秋募集説明会日程

開催地	月・日	会 場	住 所	参集者
札幌(1)	10月18日(土)	JICA札幌	札幌市白石区本通16丁目南4-25	47名
旭川	10月25日(土)	旭川パレスホテル	旭川市7条通6丁目	28名
札幌(2)	10月29日(水)	JICA札幌	札幌市白石区本通16丁目南4-25	25名
札幌(3)	11月6日(木)	札幌国際プラザ	札幌市中央区北1条西3丁目	26名
函館	11月8日(土)	函館ハーバービューホテル	函館市若松町14番10号	16名
札幌(4)	11月8日(土)	アスティ45ビル	札幌市中央区北4条西5丁目	41名

3. 日系社会青年ボランティア

現在、海外には北米、中南米の国々を中心に、250万人以上もの日系人が生活をしています。彼らは日本と異なる風土や社会の中で自らの生活水準を引き上げるとともに周辺地域の発展と活性化という大きな波及効果をもたらしています。

日系社会青年ボランティアは特に中南米地域の日系社会の一層の充実と発展を支援するために技術とボランティア精神を持った日本の青年（20歳から39歳まで）を同地域の日系団体に派遣する制度です。平成15年度末までに、中南米9カ国の日系社会に814名（派遣中を含む）を派遣しました。

ア) 北海道全体概況

(1) 北海道からの派遣実績

実施回	年度	派遣人数
1～6	～平成2年度	8名
7	平成3年度	0名
8	平成4年度	4名
9	平成5年度	2名
10	平成6年度	1名
11	平成7年度	2名

実施回	年度	派遣人数
12	平成8年度	5名
13	平成9年度	7名
14	平成10年度	4名
15	平成11年度	5名
16	平成12年度	1名
17	平成13年度	6名
18	平成14年度	0名
19	平成15年度	4名
計		49名

イ) JICA札幌管内概況

(1) 平成15年度派遣ボランティア

平成15年度は実績

氏名	派遣国	職種
大村 桃衣	ブラジル	幼稚園教諭
内藤 直子	ブラジル	団体事務
坂本 昌代	チリ	日本語教師
相原 智子	パラグアイ	日本語教師

(2) 一次選考試験

- ・ 募集一次選考 語学試験、技術試験 6月8日(土) JICA札幌
- 二次選考 個人面接、技術面接

(3) 募集説明会実績

① 春募集説明会日程

開催地	月・日	会場	住所	参集者
札幌(1)	4月12日(土)	アスティ45ビル	札幌市中央区北4条西5丁目	79名
函館	4月13日(日)	函館産業会館	函館市若松町15-7-61	16名
室蘭	4月14日(月)	国際コミュニティセンター	室蘭市寿町1-10-11	6名
滝川	4月18日(金)	滝川市総合福祉センター	滝川市明神町1-5-29	5名
札幌(2)	4月19日(土)	札幌第一ワシントンホテル	札幌市中央区北4条西4丁目	78名
旭川	4月19日(土)	旭川市民文化会館	旭川市7条通9丁目50	31名

開催地	月・日	会 場	住 所	参集者
稚内	4月20日(日)	稚内サンホテル	稚内市中央3丁目7-16	5名
札幌(3)	4月24日(木)	アスティ45ビル	札幌市中央区北4条西5丁目	46名
札幌(4)	5月10日(土)	アスティ45ビル	札幌市中央区北4条西5丁目	122名

② 春募集特別説明会

北海道大学水産学部（函館） 4月25日(金) 〈参集者 17名〉

北海道教育大学旭川校（旭川） 5月9日(金) 〈参集者 17名〉

酪農学園大学（江別市） 5月14日(水) 〈参集者 34名〉

※但し青年海外協力隊春募集と同時開催

(4) 選考結果

	全国	北海道取扱分
願 書 提 出 者	382	18
一次選考受験者数	300	15
一次選考合格者数	122	6
二次選考合格者数	49	3

※北海道国際センター（帯広）分含む

4. 日系社会シニアボランティア

中南米の開発途上地域における日系社会を対象に、日系人がその国造りのために大きな力になっていることを踏まえ、その一層の発展を支援するために、幅広い技術と豊かな経験を有し、ボランティア精神に満ち溢れた日本の中高年（40歳から69歳まで）を派遣する制度です。平成15年度末までに、中南米9カ国の日系社会に256名（派遣中を含む）を派遣しました。

ア) 北海道全体概況

(1) 北海道からの派遣実績

選考年度	派遣年度	派遣人数
平成2年度	平成3年度	1名
平成3年度	平成4年度	7名
平成4年度	平成5年度	6名
平成5年度	平成6年度	3名
平成6年度	平成7年度	5名
平成7年度	平成8年度	6名
平成8年度	平成9年度	2名

選考年度	派遣年度	派遣人数
平成9年度	平成10年度	4名
平成10年度	平成11年度	4名
平成11年度	平成12年度	3名
平成12年度	平成13年度	0名
平成13年度	平成14年度	2名
平成14年度	平成15年度	1名
平成15年度	平成16年度	2名
計		46名

イ) JICA札幌管内概況

(1) 平成15年度派遣ボランティア

氏名	派遣国	職種
西内志郎	ボリビア	農協経営指導
結城忠行	アルゼンチン	日本語教育

(2) 選考

- ・ 募集一次選考 書類選考（東京）
- 二次選考 面接、語学試験（東京）

(3) 募集説明会日程

開催地	月・日	会場	住所	参集者
札幌(1)	10月18日(土)	JICA札幌	札幌市白石区本通16丁目南4-25	47名
旭川	10月25日(土)	旭川パレスホテル	旭川市7条通6丁目	28名
札幌(2)	10月29日(水)	JICA札幌	札幌市白石区本通16丁目南4-25	25名
札幌(3)	11月6日(木)	札幌国際プラザ	札幌市中央区北1条西3丁目	26名
函館	11月8日(土)	函館ハーバービューホテル	函館市若松町14番10号	16名
札幌(4)	11月8日(土)	アスティ45ビル	札幌市中央区北4条西5丁目	41名

※但しシニア海外ボランティアと同時開催

(4) 試験結果

	全国	北海道
願書提出者数	139	13
一次選考合格者数	59	5
二次選考合格者数	25	2

2. 国際協力市民講座

開催月日	講座名	開催場所	協力団体等	講師等	参加人数
5月23日	国際協力ワークショップ(旭川)平成15年度前期第1回「世界がもし100人の村だったら」	旭川市役所第3庁舎	旭川市 旭川市国際交流委員会	岡田佳子 (北海道開発教育ネットワーク; D-net)	30名
5月30日	国際協力ワークショップ(旭川)平成15年度前期第2回「貿易ゲーム」	旭川市役所第3庁舎	旭川市 旭川市国際交流委員会	野本啓介 (北海道開発教育ネットワーク; D-net)	30名
6月6日	国際協力ワークショップ(旭川)平成15年度前期第3回「水はどこからやってくる?」	旭川市役所第3庁舎	旭川市 旭川市国際交流委員会	上森奈穂美 (北海道開発教育ネットワーク; D-net)	30名
6月29日	親と子の国際協力教室	JICA札幌	(社)北方圏センター(NRC) (財)日本国際協力センター(JICE)	青年海外協力隊OB 6名 JICA研修員 10名	47名
7月14日	JICA総裁講演会	札幌コンベンションセンター	講演テーマ「平和構築とJICAのとりくみ」	川上隆郎(JICA総裁)	75名
10月22日	国際協力市民セミナー(第5回)	JICA札幌	講演テーマ「滝川市によるマラウイに対する国際協力～北のまちからアフリカへ」	坂田蔵人(JICA札幌) Getrude S. Chiotha (JICA研修員) Martha A. Kumwela (JICA研修員)	38名
11月26日	国際協力市民セミナー(第6回)	JICA札幌	講演テーマ「カンボジアで体験したユニセフの活動」	藤原幸恵(JICE研修監理員、元ユニセフカンボジア事務所教育担当官)	57名
1月17日～18日	NGOとこんにちは! NGO屋台村	札幌市生涯学習センター ちえりあ	主催 (財)札幌国際プラザ 共催; JICA札幌 (JICAセミナーテーマ) 「青年海外協力隊と市民参加協力の連携～マラウイの協力」	(JICAセミナー講師) 山木昇(草の根技術協力第一次現地調査団団長) 山内康裕(社)滝川国際交流協会) 山内猛(マラウイ派遣青年海外協力隊OB) 山田幸(マラウイ派遣青年海外協力隊OG)	715名 (JICAセミナー参加人数) 31名
1月28日	国際協力市民セミナー(第7回)	JICA札幌	講演テーマ「バングラデシュの小学校教育とイスラム文化」	西川洋一(札幌市立清田南小学校教諭)	53名
2月25日	国際協力市民セミナー(第8回)	JICA札幌	講演テーマ「高校生が出会った、感じたベトナム・カンボジア」	吉野光(北海道千歳北陽高等学校教諭)	23名
2月26日	国際協力ワークショップ(旭川)平成15年度後期第1回「異文化理解ゲーム; バーンガ」	旭川市役所第3庁舎	旭川市旭川市国際交流委員会	上村育代 (北海道開発教育ネットワーク; D-net)	25名
2月26日	国際協力ワークショップ(旭川)平成15年度後期第2回「タイの森から: 桃の木地区に木を植えよう!」	旭川市役所第3庁舎	旭川市旭川市国際交流委員会	田上千尋 (旭岳ビジターセンター/タイ派遣青年海外協力隊OB)	18名

3. 開発教育支援

(1) 中学生・高校生エッセイコンテスト2003

- ・募集テーマ：開発途上国や国際協力、国際理解について考えていること。
例えば「私たちの未来と地球」「青年海外協力隊員になったら」「開発途上国の人々とのふれあい」「ボランティア活動を経験して」など。題は自由。

・募集期間：平成15年5月1日から平成15年9月12日まで

・全国の応募総数：中学生 15,383点（北海道887点）
高校生 11,524点（北海道375点）

<JICA札幌管内 中学入賞者>

・入選

吉田 美里亜	立命館慶祥中学校	2年生	「戦場の子ども達を思う」
筒井 啓介	旭川市立東陽中学校	1年生	「一枚の写真」
角谷 千飛路	札幌市立八軒東中学校	1年生	「LOVE!地球」

・JICA札幌所長賞

山下 剛	立命館慶祥中学校	2年生	「一枚の羽が伝えるやさしさ」
岩田 路花	留寿都村立留寿都中学校	1年生	「大切な事」

・JOCA（社）青年海外協力協会）会長賞

高橋 由起子	札幌市立白石中学校	2年生	「心は通じ合えるから」
安達 遼	立命館慶祥中学校	2年生	「チャイルズ・スポンサー 『僕はお父さん』」

・学校賞

札幌市立白石中学校
札幌市立藻岩中学校
立命館慶祥中学校
旭川市立東陽中学校
天塩町立啓徳中学校
浜頓別町立下頓別中学校

<JICA札幌管内 高校入賞者>

・入選

西道口 友子	北海道伊達高等養護学校	3年生	「少女の笑顔から考えたこと」
芹川 可奈	函館白百合学園高等学校	3年生	「フィリピンで見つけた宝物」

・JICA札幌所長賞

小濱 美穂子	旭川藤女子高等学校	3年生	「一人一人ができる国際協力」
--------	-----------	-----	----------------

- ・ JOCA (社)青年海外協力協会) 会長賞
平岡 依利香 旭川藤女子高等学校 2年生 「未来を造る子供たちに手を」
- ・ 特別学校賞
北海道当別高等学校
- ・ 学校賞
北海道滝川高等学校
旭川藤女子高等学校

(2) 開発教育支援セミナー開催

ア) 平成15年度 開発教育指導者研修

- ① 開催年月日等
平成16年1月8日(木)～9日(金)
参加人数 44名
- ② 開催場所
JICA札幌
- ③ 講師等氏名
 - 1) 講演
大津 和子 (北海道教育大学教授)
 - 2) 参加型学習手法の学習
高橋 一 (酪農学園大学助教授)
小泉 雅弘 (北海道開発教育ネットワーク (D-net))
都築 仁美 (北海道開発教育ネットワーク (D-net))
岡田 佳子 (北海道開発教育ネットワーク (D-net))
 - 3) 教育現場での開発教育実践事例研究
白石 邦彦 (札幌市立もみじ台小学校 教頭)
渡辺 元 (札幌市立大谷地小学校 教諭)
小林 直樹 (旭川市立東陽中学校 教諭)
田辺 孝規 (北海道当別高等学校 教諭)
 - 4) 平成15年度教師海外研修報告
谷 弘人 (北海道高等聾学校教諭)
渡辺 佳穂里 (北海道真駒内養護学校教諭)
松田 剛史 (富良野市立富良野東中学校教諭)
中村 信義 (千歳市立信濃小学校教諭)
 - 5) 協力隊等の活動報告・意見交換
袴田 信郎 日系社会シニアOB (アルゼンティン日本語教師)
長南 誠一 日系社会シニアOB (コロンビア日本語教師)
江蔵 弘文 青年海外協力隊OB (タンザニア理数科教師)
小田 晃子 青年海外協力隊OG (ブータン体育)
坂田 蔵人 青年海外協力隊OB (マラウイサッカー)
鷺見美由紀 青年海外協力隊OG (マレーシア日本語教師)

イ) 国際理解教育セミナー ～JICA開発教育支援～

- ① 開催年月日等
平成16年2月11日(水・祝)
参加人数 31名
- ② 開催場所
旭川パレスホテル
- ③ 講師等氏名
松田 剛史 (富良野市立富良野東中学校教諭)
中村 信義 (千歳市立信濃小学校教諭)

ウ) 学校現場における国際協力セミナー(函館)

- ① 開催年月日等
平成16年3月11日(木)
参加人数 19名
- ② 開催場所
(財)北海道国際交流センター
- ③ 講師等氏名
館 光三 JICA札幌 総務課
柴田 秀則 青年海外協力隊OB(タンザニア 溶接)
野本 啓介 北星学園大学経済学部専任講師

エ) 開発教育ワークショップ北海道キャラバン(函館)～JICA開発教育支援事業～
「世界がもし100人の村だったら」

- ① 開催年月日等
平成15年11月21日(金)
参加人数 24名
- ② 開催場所
(財)北海道国際交流センター
- ③ 講師等氏名
岡田 佳子 北海道開発教育ネットワーク(D-net)
大川 誉芳 (社)北方圏センター(NRC) 国際協力部
館 光三 JICA札幌 総務課
- ④ 主催 JICA札幌 共催 (財)北海道国際交流センター、NRC

オ) 開発教育ワークショップ北海道キャラバン(室蘭)～JICA開発教育支援事業～
「世界がもし100人の村だったら」

- ① 開催年月日等
平成15年11月29日(土)
参加人数 25名
- ② 開催場所
室蘭市民会館 中会議室

③ 講師等氏名

栗山 丈弘 北海道開発教育ネットワーク (D-net)
津久井成美 北海道開発教育ネットワーク (D-net)
佐藤 圭子 (社)北方圏センター (NRC) 国際協力部
大川 誉芳 (社)北方圏センター (NRC) 国際協力部
濱川 格 JICA札幌 総務課

④ 主催 NRC 共催 JICA札幌

(3) 教師海外研修

ア) 小学校教師海外研修

・研修期間：平成15年7月31日から8月11日まで(12日間)

・派遣国：フィジー

・JICA札幌管内参加者：千歳市立信濃小学校 中村 信義 教諭

見学先等；JICAフィジー事務所、青年海外協力隊・シニア海外ボランティア活動現場(学校、病院等)訪問、フィジー国教育省表敬、プロジェクト方式技術協力現場(南太平洋大学)訪問、フィジーJOCV派遣20周年イベント参加等

イ) 中学校・高校教師海外研修

・研修期間：平成15年7月31日から8月11日まで(12日間)

・派遣国：バングラデシュ

・JICA札幌管内参加者：富良野市立富良野東中学校 松田 剛史 教諭

北海道高等聾学校 谷 弘人 教諭

北海道真駒内養護学校 渡辺 佳穂里教諭

見学先等；JICAバングラデシュ事務所、青年海外協力隊・シニア海外ボランティア活動現場(学校、リハビリセンター等)訪問、プロジェクト方式技術協力現場(リプロダクティブヘルス人材開発、住民参加型農村開発強制支援計画)訪問、現地NGO活動現場、JICA研修員同窓会によるJICA設立記念式分科会参加等

(4) 高校生国際協力実体験プログラム

・開催期間：平成14年8月6日から8日まで

・参加人数：23名

・参加校：学校法人酪農学園とわの森三愛高等学校

北海道千歳北陽高等学校

北海道当別高等学校

山形県立寒河江高等学校 (JICA東北管内校受入)

宮城県多賀城高等学校 (JICA東北管内校受入)

・オブザーバー参加：国際ロータリー第2650、2651地区より19名が参加
(福井県、京都府、奈良県の高校生及び引率教員)

4. 国際協力出前講座

(1) 講師派遣及びJICA札幌来訪分

実施日		依頼団体名	※	受講者	人数	講師	
1	4月18日	来訪	札幌国際大学人文学部	大	札幌国際大学人文学部 新入生	50	濱川 格 JICA職員 小田 晃子 国内協力員
2	5月8日	派遣	富良野市立富良野東中学校	中	同校3年生	97	鷲見 美由紀 国際協力推進員
3	5月8日	来訪	余市町立西中学校	中	余市町立西中学校生徒 及び引率教諭	8	和田 裕司 JICA職員 遠藤 高 盛 NRC職員
4	5月12日	来訪	岩見沢市立上幌向中学校	中	岩見沢市立上幌向中 学校2学年生徒及び教員	47	濱川 格 JICA職員
5	5月28日	来訪	札幌市立大谷地小学校	小	札幌市立大谷地小学校 児童及び引率教諭	109	遠藤 高 盛 小田島 道 朗 NRC職員 吉村 美由紀
6	5月29日	派遣	旭川ユネスコ協会	他	市民一般	15	鷲見 美由紀 国際協力推進員
7	6月3日	来訪	札幌市立常盤中学校	中	札幌市立常盤中学校1 年生生徒及び教員	26	濱川 格 JICA職員
8	6月5日	派遣	旭川市立東鷹栖中学校	中	中学校生徒	29	鷲見 美由紀 国際協力推進員
9	6月11日	来訪	札幌市立八条中学校	中	札幌市立八条中学校1 年生生徒	7	和田 裕司 JICA職員
10	6月11日	派遣	N-Srarsnet	他	国際協力に関心のある 大学生及び社会人	13	神藤 はるか 田中 幸 成 JICA職員
11	6月16日	派遣	BPW旭川クラブ	社	職業婦人	8	鷲見 美由紀 国際協力推進員
12	6月17日	派遣	札幌市立北辰中学校北大病 院内学級	中	札幌市立北辰中学校北 大病院内学級	14	宮崎 明 博 JICA職員 小田 晃子 国内協力員
13	6月17日	派遣	恵庭市役所企画調整課	社	市の国際化推進プラン 検討会メンバー	25	町田 哲 JICA職員
14	6月19日	派遣	百寿大学(中央公民館2年)	社	百寿大学 中央公民館2年	55	鷲見 美由紀 国際協力推進員
15	6月20日	来訪	千歳市立向陽台小学校	小	千歳市立向陽台小学校 児童及び引率教諭	49	和田 裕司 JICA職員 遠藤 高 盛 NRC職員 小田島 道 朗
16	6月25日	派遣	旭川NPOサポートセンター	他	市民一般	5	鷲見 美由紀 国際協力推進員
17	6月30日	来訪	札幌医科大学保健医療学部	大	札幌医科大学保健医療 学部看護学科生	27	町田 哲 司 JICA職員 和田 裕 司 渡辺 由起子 青年海外協力隊OG(ネ パール・公衆衛生)
18	7月1日	派遣	旭川市百寿大学(東旭川公 民館)	社	同生涯学習機関 受講 生	40	鷲見 美由紀 国際協力推進員
19	7月1日	来訪	江別市立野幌中学校	中	同校3年生	2	吉村 美由紀 NRC職員
20	7月13日	派遣	明るい社会づくり運動 北・北海道連絡協議会	社	同協議会員	50	鷲見 美由紀 国際協力推進員
21	7月15日	来訪	札幌市立本通小学校	小	同校3年生14名及び教 職員1名	15	遠藤 隆 盛 NRC職員
22	7月15日	来訪	札幌市立大谷地小学校	小	同校2年生10名及び PTA2名	12	吉村 美由紀 NRC職員
23	7月24日	派遣	伊達市立光陵中学校	中	同校生徒164名及び教 員10名	174	柴田 秀 則 青年海外協力隊OB(タ ンザニア・溶接)
24	7月24日	派遣	旭川市百寿大学(東旭川公 民館)	社	同生涯学習機関 受講 生	80	鷲見 美由紀 国際協力推進員
25	7月25日	来訪	立命館慶祥高等学校	高	1年生生徒	1	濱川 格 JICA職員
26	8月20日	派遣	旭川市百寿大学(東光公民 館)	社	同生涯学習機関 受講 生	80	鷲見 美由紀 国際協力推進員
27	8月21日	派遣	女性大学(愛宕公民館)	社	同生涯学習機関 受講生	30	鷲見 美由紀 国際協力推進員
28	8月28日	派遣	札幌市立八軒北小学校	小	3年生82名及び教職員 3名	85	高橋 直 樹 JICA職員 小田 晃子 国内協力員
29	8月30日	来訪	社団法人 滝川国際交流協 会	社	滝川市民	10	町田 哲 司 JICA職員 高橋 直 樹
30	8月30日	派遣	北海道教育大学生涯学習研 究センター	他	明日の福祉を拓くりカ レント土曜講座受講生	19	齊藤 勝 幸 青年海外協力隊OB(ヨ ルダン・作業療法士)
31	8月31日	来訪	松子連白石区事務局	他	白石区内の子供51名及 び事務局員6名	57	遠藤 隆 盛 小田島 道 朗 NRC職員 吉村 美由紀

	実施日		依頼団体名	※	受講者	人数	講師	
32	9月2日	来訪	札幌市立琴似中学校	中	同校1年生6名及び教職員2名	8	遠藤 隆盛	NRC職員
33	9月4日	来訪	(財)ひろしま国際センター	社	同センター職員	2	遠藤 隆盛 小田島 道朗	NRC職員
34	9月5日	来訪	浜頓別町立下頓別中学校	中	同校3年生4名及び教職員3名	7	和田 裕司 遠藤 隆盛	JICA職員 NRC職員
35	9月16日	来訪	札幌市立平和通小学校	小	同校3年生3名及び教職員1名	4	小田島 道朗	NRC職員
36	9月19日	派遣	札幌市立三角山小学校	小	4年生2学級51名及び教職員2名	53	濱川 格	JICA職員
37	9月24日	派遣	千歳市国際交流課	高	千歳高校「国際理解の集い」に参加の国際流通科、国際教養科の生徒	360	坂田 蔵人	国内協力員
38	9月26日	来訪	札幌市立山鼻中学校	中	1年生5名及び教職員1名	6	濱川 格	JICA職員
39	9月30日	派遣	札幌市立文京台小学校	小	同校5年生	38	小田 晃子	国内協力員
40	10月2日	来訪	札幌市立西岡中学校	中	3年生「国際協力コース」16名及び教職員1名	17	坂田 蔵人	国内協力員
41	10月4日	派遣	北星学園大学同窓会旭川支部	社	支部の集い参加者	25	鷺見 美由紀	国際協力推進員
42	10月4日	派遣	札幌市立清田中学校	中	3年生	31	坂田 蔵人	国内協力員
43	10月14日	来訪	札幌市立手稲中学校	中	1年生2名3年生1名	3	小田 晃子	国内協力員
44	10月15日	来訪	札幌市立啓明中学校	中	3年生	2	和田 裕司	JICA職員
45	10月17日	派遣	旭川市立日章小学校	小	6年生	25	鷺見 美由紀	国際協力推進員
46	10月18日	派遣	浜頓別町立下頓別中学校	中	全校生徒	19	鷺見 美由紀	国際協力推進員
47	10月21日	派遣	北海道教育大学教育学部付属旭川中学校	中	総合学習(国際理解)生徒	58	鷺見 美由紀	国際協力推進員
48	10月22日	派遣	上川管内教育研究会 国際理解教育研究班	教	上川管内教育研究会国際理解教育班班員及び富良野市教育委員会関係者等	25	鷺見 美由紀	国際協力推進員
49	10月22日	来訪	札幌市立白石中学校	中	札幌市立白石中学校3年生	52	和田 裕司	JICA職員
							長澤 有晃	JICA専門家OB(チリ・アルゼンチン、さけます養殖・淡水魚養殖)
							袴田 信郎	日系シニアボランティアOB(アルゼンチン・ボリビア、日本語教師)
							石田 省子	シニアボランティアOG(パラグアイ・ウルグアイ、日本語教師)
							高橋 淳子	青年海外協力隊OG(ザンビア、理数科教師)
50	10月23日	来訪	札幌市立宮の森中学校	中	3年生	5	濱川 格	JICA職員
51	10月30日	来訪	札幌市立上野幌中学校	中	3年生	4	小田 晃子	国内協力員
52	11月7日	派遣	北海道旭川凌雲高等学校	高	1年生現代社会受講生徒	40	鷺見 美由紀	国際協力推進員
53	11月10日	派遣	立命館大学国際関係学部	大	2年生	20	中村 三樹男	JICA職員
54	11月10日	来訪	札幌国際大学	大	学生	10	和田 裕司	JICA職員
55	11月18日	派遣	札幌市立もみじ台小学校	小	4年生	38	高橋 直樹	JICA職員
56	11月19日	来訪	北海道立教育研究所	教	道内小・中・高校教員24名及び同行者2名	26	中村 三樹男	JICA職員
							和田 裕司	
							坂田 蔵人	国内協力員
							袴田 信郎	日系シニアボランティアOB(アルゼンチン・ボリビア、日本語教師)
江 蔵 弘 文	青年海外協力隊OB(タンザニア、理数科教師)							
57	11月21日	派遣	北星大学短期大学部	大	2年生	300	町田 哲	JICA職員
							小田 晃子	国内協力員
58	11月21日	派遣	札幌市立もみじ台小学校	小	4年生	38	坂田 蔵人	国内協力員
59	11月21日	派遣	旭川市立大有小学校	小	6年生	57	鷺見 美由紀	国際協力推進員
60	11月26日	派遣	百寿大学(旭川市愛宕公民館)	社	百寿大学生	57	鷺見 美由紀	国際協力推進員
61	12月3日	来訪	札幌市立福井野中学校	中	2年生	14	和田 裕司	JICA職員
62	12月4日	派遣	札幌市立清田中学校	中	3年生	31	坂田 蔵人	国内協力員
63	12月5日	派遣	旭川市立愛宕小学校 国際交流クラブ	小	国際交流クラブ児童(4~6年生)	10	鷺見 美由紀	国際協力推進員

	実施日		依頼団体名	※	受講者	人数	講師	
64	12月12日	派遣	江別市立中央小学校	小	同校6年生94人及び教職員4人	98	立石喜裕	青年海外協力隊OB(ケニア、農業土木)
65	12月12日	派遣	札幌市立東月寒中学校	中	3年生	230	坂田蔵人	国内協力員
66	12月15日	派遣	札幌市清田消防署	社	清田消防署員	50	館光三	JICA職員
67	12月16日	派遣	札幌市清田消防署	社	清田消防署員	50	館光三	JICA職員
68	12月16日	派遣	北海道上川支庁	社	北海道老人大学生	60	鷲見美由紀	国際協力推進員
69	12月16日	派遣	北海道老人大学旭川校	社	受講生	60	鷲見美由紀	国際協力推進員
70	12月19日	派遣	百寿大学(旭川市中央公民館)	社	受講生	78	鷲見美由紀	国際協力推進員
71	1月8日	派遣	北星大学経済学部	大	同学部「演習Ⅰ」「海外実習Ⅱ」履修生	20	小田晃子 伊藤元	国内協力員 青年海外協力隊OB(マレーシア、昆虫学)
72	1月12日	来訪	北海道教育庁胆振教育局	社	北海道教育庁胆振教育局外国語長期体験活動参加児童及び関係者	56	小田島道朗	NRC職員
73	1月13日	訪問	酪農学園大学・酪農学園大学短期学部	大	ボランティア活動・NPO・NGO論受講生	50	中村三樹男	JICA職員
74	1月14日	派遣	北海道教育局上川教育局	教	上川管内の教員経験10年の教員	20	鷲見美由紀	国際協力推進員
75	1月15日	派遣	北海道教育庁石狩教育局	教	石狩管内の教員経験10年の教員14名及び担当職員1名	15	和田裕司	JICA職員
76	1月22日	派遣	旭川市中央公民館	社	受講者	76	鷲見美由紀	国際協力推進員
77	1月27日	派遣	旭川市中央公民館	社	受講者	61	鷲見美由紀	国際協力推進員
78	2月3日	派遣	札幌市立藻岩中学校	中	選択社会受講生徒	30	宮崎明博	JICA職員
79	2月9日	派遣	札幌市立藻岩中学校	中	選択社会受講生徒	30	宮崎明博	JICA職員
80	2月10日	派遣	札幌市公立小中学校事務職員協議会	教	小中学校事務職員	210	袴田信郎	日系シニアボランティアOB(アルゼンチン・ボリビア、日本語教師)
81	2月20日	派遣	旭川市立日章小学校	小	5年生	22	鷲見美由紀	国際協力推進員
82	2月27日	派遣	旭川ロータリークラブ	社	旭川ロータリークラブ会員	60	鷲見美由紀	国際協力推進員
83	3月7日	来訪	北村国際交流協会	他	北村児童・生徒及び北村国際交流協会関係者	41	吉村美由紀	NRC職員
84	3月11日	派遣	札幌市立平岡緑中学校	中	2学年生徒及び教職員	197	袴田信郎	日系シニアボランティアOB(アルゼンチン・ボリビア、日本語教師)
85	3月25日	派遣	千歳国際交流協会国際交流課	小	千歳市小学5年生及び関係者	40	坂田蔵人 和田裕司	国内協力員 JICA職員
86	3月26日	派遣	富良野市教育委員会	他	富良野市子ども会リーダー養成交流会(後期)参加者 小学4年生～高校生	55	鷲見美由紀	国際協力推進員

総受講者人数 4,233人

※ 受講者側の状況； 小－小学生が主な受講対象、 中－中学生、 高－高校生、
大－大学生、 教－教職員、 社－社会人、
他－これ以外の受講グループ（混成を含む）

上記受講対象別の受講人数の小計	小	16件	693人
	中	27件	1,148人
	高	3件	401人
	大	7件	477人
	教	5件	296人
	社	21件	1,013人
	他	7件	205人

(2) JICA研修員の学校訪問

	コース名	訪問 研修 員数	研 修 員 の 国 籍	訪 問 日	訪 問 校	対 象 児 童・生 徒 数
1	マケドニア生産管理	7	マケドニア、スロバキア	6.13 (金)	札幌市立大倉山小学校	381
2	都市型水質汚濁検査技術Ⅱ	6	フィリピン、タイ、コスタリカ、オマーン、シリア、ウガンダ	6.20 (金)	函館市立青柳小学校	43
3	南アフリカ共和国地域開発行政セミナー	6	南アフリカ共和国	6.24 (火)	札幌市立本郷小学校	84
4	都市型水質汚濁検査技術Ⅱ	6	フィリピン、タイ、コスタリカ、オマーン、シリア、ウガンダ	7.14 (月)	厚田村立厚田中学校	38
5	母子保健人材育成	9	カンボジア、パプアニューギニア、ジャマイカ、エリトリア、カメルーン、モザンビーク、ルワンダ	7.17 (木)	旭川藤女子高等学校	454
6	農民参加による農業農村開発Ⅱ	9	ミャンマー、パキスタン、ボリビア、レバノン、ケニア、タンザニア、ブルキナファソ、モザンビーク、	7.22 (火)	千歳市立末広小学校	68
7	水道技術者養成Ⅱ	8	スリランカ、トンガ、クック諸島、グアテマラ、パラグアイ、パレスチナ、スワジランド、	8.26 (火)	学校法人北海学園 札幌商業高等学校	40
8	道路技術	6	インドネシア、ガーナ、ジンバブエ、ジブチ、マダガスカル	9. 2 (火)	札幌市立信濃小学校	133
9	エジプト看護教育手法	5	エジプト	9. 5 (金)	当別町立弁華別中学校	40
10	農畜水産食品の安全管理 (サブサハラアフリカ諸国)	6	ウガンダ、ザンビア、ケニア、タンザニア、トーゴ	9. 8 (月)	札幌市立もみじ台小学校	38
11	中央アジア母子保健行政	11	タジキスタン、アゼルバイジャン、アルメニア、ウズベキスタン、カザフスタン、キルギス、グルジア	9.19 (金)	江別市立江別第二小学校	110
12	地域土木行政セミナーⅡ	5	フィリピン、スリランカ、パヌアツ、ヨルダン、東ティモール	9.26 (金)	砂川市立中央小学校	174
13	地域環境保全技術	5	インドネシア、中華人民共和国、バンラダシュ、ボリビア、チリ	10. 3 (金)	江別市立大麻西小学校	254
14	下水道維持管理Ⅱ	7	インドネシア、カンボジア、パキスタン、パラオ、ホンジュラス、イラン、インド	10. 6 (月)	札幌市立平岸小学校	113
15	地域開発計画管理Ⅱ	6	ラオス、インド、ルーマニア、タジキスタン	10.28 (火)	札幌市立新陵東小学校	73
16	中央アジア経営管理	5	キルギス、アゼルバイジャン、アルメニア	11.14 (金)	札幌市立平岡中央小学校	132
17					札幌市立札幌中学校	201
18	新生児マスキング	8	タイ、パキスタン、エルサルバドル、メキシコ、アルゼンチン、ペルー、ザンビア	11.20 (木)	江別市立文京台小学校	277
19	エレクトロニクス技術 (コン ピューター・インターフ ェイス)	9	中華人民共和国、スリランカ、ブラジル、エジプト、ケニア、ウズベキスタン、トルコ	11.21 (金)	札幌市立藻岩南小学校	127
20					札幌市立大谷地小学校	396
21	産業動物の獣医技術	7	タイ、フィジー、メキシコ、アルゼンチン、ブラジル、ガーナ	12. 3 (水)	江別市立江別第二中学校	162
22	東アジア寒冷地水道技術者 養成	6	中華人民共和国、ネパール、ブータン、モンゴル	12. 9 (火)	札幌市立月寒小学校	214
23	パレスチナ地方自治体行政	12	パレスチナ	2. 4 (水)	札幌市立東札幌小学校	104
24	エキノコックス症対策	7	中華人民共和国、モンゴル、アルゼンチン、チリ、パラグアイ、ウルグアイ	2. 6 (金)	北広島市立西部中学校	45
25	食品保健行政 (アフリカ諸 国)	10	ガーナ、ケニア、ウガンダ、タンザニア、ザンビア、ベナン、コートジボワール、ガボン、ニジェール、セネガル、トーゴ	2.13 (金)	北海道札幌南陵高等学校	308
26	中央アジア地域開発計画セ ミナー	9	タジキスタン、カザフスタン、ウズベキスタン、キルギス、トルクメニスタン	2.24 (火)	札幌市立上野幌西小学校	60

4,069人

5. 広報一般

(1) ODA、JICA事業、国際協力ボランティア等に関する一般からの問い合わせ対応

(2) パンフレット等各種資料の配布、パネル、ビデオ貸出等を実施

ア) 主なパネル貸出

月 日	内 容	展 示 場 所	パネル利用者等
4月14日～ 4月21日	地下街パネル展 「JICAの活動紹介」	地下鉄大通駅 「ふれあい広場」	JICA札幌
7月4日～ 7月14日	授業に使用	札幌市立厚別中学校	長谷川 敬 先生
7月11日～ 7月14日	協力隊事業紹介	北海道札幌清田高等学校	育てる会 玉山 琉璃子さん
7月17日～ 7月25日	学校際にて国際協力クラブ 活動の展示に使用	北海道当別高等学校	田辺 孝規 先生
9月4日～ 9月12日	国際理解研究協議会	旭川	JICA国際協力推進員 鷺見美由紀
9月17日～ 10月6日	学校訪問事前学習用	江別市立大麻西小学校	神原 由美子 先生
10月4日～ 10月6日	サプリッシュフェスタ ふれあい感謝祭 協力	札幌コミュニティドーム (つどむ)	JICA国際協力推進員 鷺見美由紀
11月4日～ 11月11日	地下街パネル展 「JICAの活動紹介」	地下鉄大通駅 「ふれあい広場」	JICA札幌
3月9日～ 3月14日	国際協力フォトコンテスト 受賞作品展示	ギャラリー大通美術館 「環境と芸術の作家展」	環境と芸術を考える会 事務局 清水知秀さん
3月11日～ 3月15日	恵庭市国際交流講演会	恵庭市企画財政部	企画調整課長 吉田 信子さん

イ) JICAビデオ貸出

月 日	使 用 目 的	貸 出 先	担 当 者
4月21日～ 4月22日	国際ボランティア講座	北海道札幌国際情報 高等学校	石井愛一郎 先生
4月22日～ 4月25日	国際ボランティア講座	北海道札幌国際情報 高等学校	石井愛一郎 先生
5月23日～ 5月26日	授業に使用	星槎国際高校 北海道学習センター	伊藤 千晶 先生
6月10日～ 6月20日	授業に使用	北海道札幌東商業高等学校	西 義一 先生
6月24日～ 6月30日	授業に使用	札幌市立西岡中学校	井上 智雄 先生
7月8日～ 7月20日	授業に使用	北海道札幌東商業高等学校	西 義一 先生
7月11日～ 7月14日	協力隊事業紹介	北海道札幌清田高等学校	育てる会 玉山 琉璃子
9月4日～ 9月20日	参考	個人	南条 元 さん

月 日	使用目的	貸 出 先	担 当 者
9月5日～ 9月15日	協力隊事業紹介	北海道稚内商工高等学校	平尾 睦子 先生
10月28日～ 10月29日	学校祭展示発表のため	札幌市立西岡中学校	佐々木 啓行 先生
11月18日～ 11月20日	総合学習で使用	札幌市立東月寒中学校	武井 俊之 先生
11月25日～ 12月8日	参考	育てる会	阪崎 健次朗 さん
12月1日～ 1月5日	参考	個人	南条 元 さん
1月28日～ 2月4日	学校訪問受入用事前学習	札幌市立東札幌小学校	湯浅 大吾 先生
2月10日～ 2月12日	帰国専門家連絡会業務	北海道JICA帰国専門連絡会	袴田 信郎 さん
3月3日～ 4月30日	PRのため	BPW札幌	丸山 真智子さん

(3) マスコミ関係者の協力現場取材

特に、マスコミ関係者の海外派遣としては、2003年11月23日から12月5日まで北海道新聞室蘭支局記者の坂本真理氏をエルサルバドル及びジャマイカに派遣。

また、2003年1月8日から17日まで北海道新聞滝川支局記者の宇野一征氏をマラウイに派遣。



